

# オルガノ株式会社

## 2016年3月期決算説明会

2016年5月16日

## 目 次

会社概要	3
連結の範囲	4
2016年3月期実績	5
中期経営計画と2017年3月期計画	15
コーポレートガバナンス・コードへの取組み	41
参考資料	44

社名	オルガノ株式会社（英名：Organo Corporation）		
本社所在地	〒136-8631 東京都江東区新砂1丁目2番8号		
設立	1946年5月1日		
代表者	代表取締役社長 鯉江 泰行		
資本金	82億2,549万9,312円		
従業員数	2,088名（連結） ※2016年3月31日時点		
主な事業内容	水処理エンジニアリング事業	プラント事業	大型水処理設備の製造販売
		ソリューション事業	設備のメンテナンス・運転管理・改造工事等
	機能商品事業		標準型水処理機器、水処理薬品、食品添加剤の製造販売
主な事業所	本社（東京都江東区）、開発センター（相模原市）、つくば工場（つくば市）、いわき工場（いわき市）、北海道支店（札幌市）、東北支店（仙台市）、関東支店（東京都江東区）、中部支店（名古屋市）、関西支店（吹田市）、中国支店（広島市）、九州支店（福岡市）		

## 【国内・海外連結子会社】

エリア		連結子会社名	主な事業内容	
国内		オルガノプラントサービス	水処理プラントの施工・メンテナンス	
		オルガノフードテック	食品添加剤製造・販売	
		オルガノエコテクノ	排水処理プラント設計・施工	
		オルガノアクティ	印刷、保険代理、管理業務受託	
海外	中国	Organo (Suzhou) Water Treatment	水処理エンジニアリング事業	
	台湾	Organo Technology	水処理エンジニアリング事業	
	東南アジア		Organo (Asia) <マレーシア>	水処理エンジニアリング事業
			Organo (Thailand) <タイ>	水処理エンジニアリング事業
			Lautan Organo Water <インドネシア>	水処理エンジニアリング事業

## 【参考：国内・海外非連結子会社】

エリア		非連結子会社名	主な事業内容
国内		ホステック	標準型水処理機器製造
海外	東南アジア	Organo (Singapore) <シンガポール>	水処理エンジニアリング事業
		Organo (Vietnam) <ベトナム>	水処理エンジニアリング事業
	南アジア	Murugappa Organo Water Solutions <インド>	水処理エンジニアリング事業

## 2016年3月期実績

- 実績サマリー
- 実績
- セグメント別実績
- 水処理エンジニアリング事業 部門・顧客別売上高
- 機能商品事業 部門別売上高
- 機能商品事業 各部門の事業概要
- 地域別売上高
- 営業利益分析（要因別）
- 貸借対照表

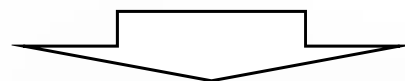
## 2016年3月期実績サマリー

### 事業環境

2015年4月時点の見通し	実 態
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国内では企業の生産活動の持ち直し傾向が続き、設備投資も産業全般で増加</li> <li>■ 海外（アジア地域）では経済成長率が維持</li> <li>■ 水処理分野については他業種からの相次ぐ参入、価格競争の激化により厳しい状況が続く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電子産業分野で日本国内や台湾において積極的な設備投資</li> <li>■ 一部原子力発電所が運転再開</li> <li>■ 産業全般では海外生産を国内に回帰する動きは鈍く、国内の設備投資の勢いには弾みがついていない</li> <li>■ 海外では中国の景気低迷、資源価格の下落等が世界経済に大きな影響</li> </ul>

### 決算概要

- 水処理エンジニアリング事業：対前期 増収増益  
 （国内）電子産業分野を中心に産業全般でプラント、メンテ等が伸長  
 （海外）台湾の電子産業分野向けプラント増
- 機能商品事業：売上高・営業利益 対前期 微増  
 顧客工場の操業度緩やかに回復し、標準型水処理機器及び水処理薬品の販売堅調



**連結業績：対前期 増収増益**

## 2016年3月期実績

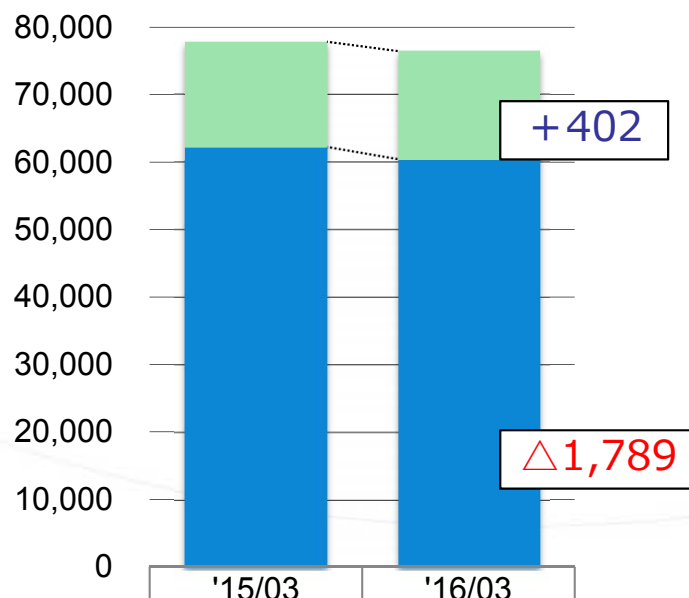
(単位：百万円)

	2015/03 実績	2016/03 計画	2016/03 修正予想	2016/03 実績	前期差	計画差
受注高	77,873	75,000	75,000	76,485	Δ 1,388	+ 1,485
売上高	68,741	77,000	79,000	78,719	+ 9,978	+ 1,719
売上総利益 (%)	15,544 (22.6)	16,700 (21.7)	17,400 (22.0)	17,749 (22.5)	+ 2,205 (Δ 0.1pt)	+1,049 (+ 0.8pt)
販管費	13,145	14,000	13,900	13,802	+ 657	Δ 198
営業利益 (%)	2,398 (3.5)	2,700 (3.5)	3,500 (4.4)	3,947 (5.0)	+ 1,549 (+ 1.5pt)	+1,247 (+ 1.5pt)
経常利益	2,465	2,600	3,400	3,871	+ 1,406	+ 1,271
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,085	1,680	2,250	2,485	+ 1,400	+ 805

(単位：百万円)

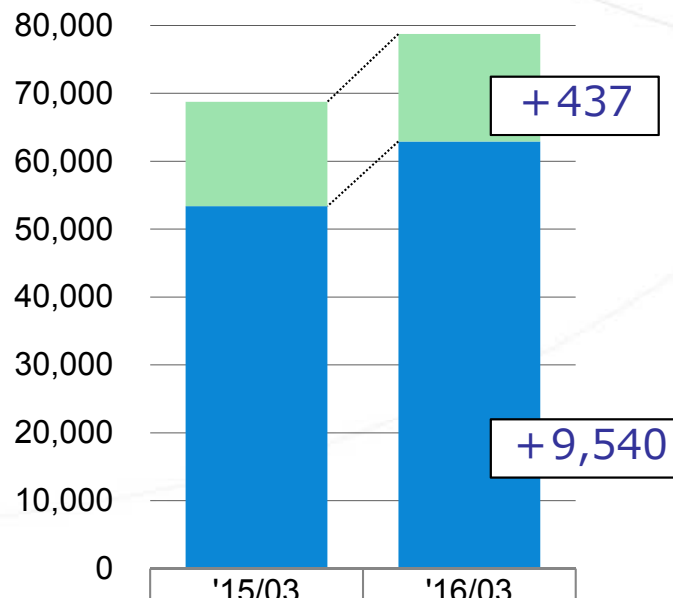
## セグメント別実績

### 受注高



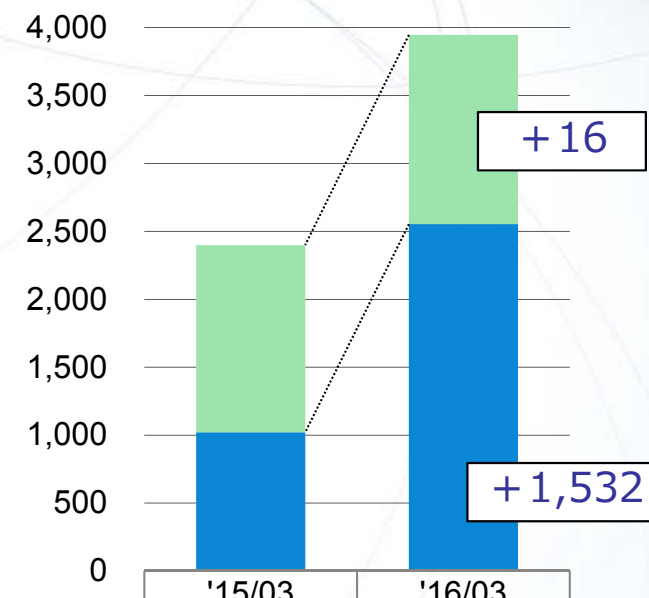
	'15/03	'16/03
計	77,873	76,485
■機能商品	15,554	15,956
■水処理エンジ	62,318	60,529

### 売上高



	'15/03	'16/03
計	68,741	78,719
■機能商品	15,374	15,811
■水処理エンジ	53,367	62,907

### 営業利益



	'15/03	'16/03
計	2,398	3,947
■機能商品	1,377	1,393
■水処理エンジ	1,021	2,553

#### 【機能商品事業】

営業利益：売上増も事業拡大に向けた販管費の増加により前年とほぼ同水準

#### 【水処理エンジニアリング事業】

受注高：国内電子産業向けプラントで減少

売上高：国内外電子産業向けプラント／メンテナンスで増加

営業利益：電子産業分野向けの売上拡大により増加

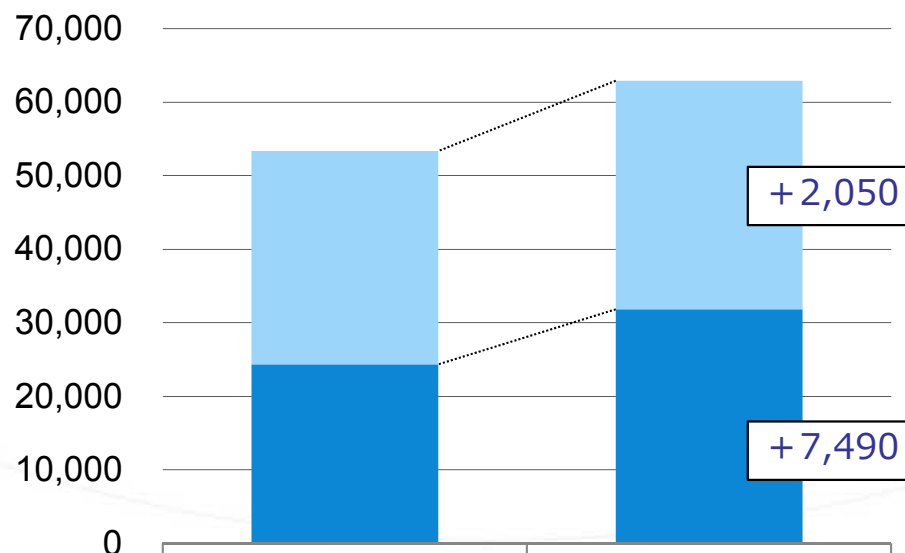


## 【水処理エンジニアリング事業】部門・顧客別売上高

(単位：百万円)

### 部門別売上高

### 顧客別売上高



#### 【ソリューション】

国内外電子産業向けや発電所向けのメンテナンスで増加

#### 【プラント】

国内外電子産業向けプラントや上下水道プラントで増加

#### 【一般産業】

医薬向けプラントや排水プラントで減少

#### 【電力・上下水道】

上下水道プラントや発電所向けメンテナンスで増加

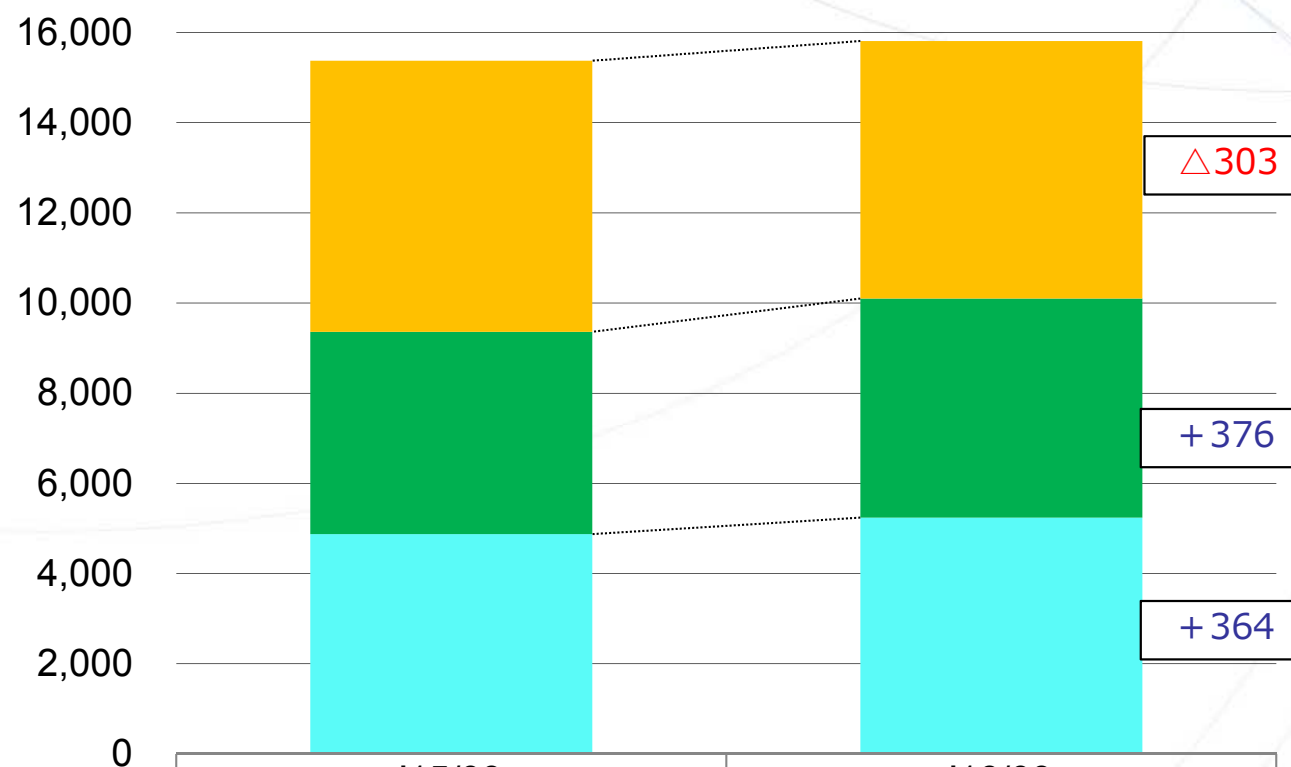
#### 【電子産業】

国内外プラント／メンテナンスで増加

【機能商品事業】 部門別売上高

(単位：百万円)

部門別売上高



	'15/03	'16/03
計	15,374	15,811
■ 食品添加剤	6,013	5,710
■ 水処理薬品	4,484	4,860
■ 標準型機器・フィルター	4,877	5,241

【機能商品事業】 各部門の事業概要

標準型機器・フィルター

標準型機器

研究機関、病院等での  
各種実験・分析や検査用  
純水・超純水製造装置等



超純水装置  
ピューリックw



純水装置  
PROシリーズ

コンビニエンスストア、  
厨房、カップ式自動販売機等  
向け浄水フィルター

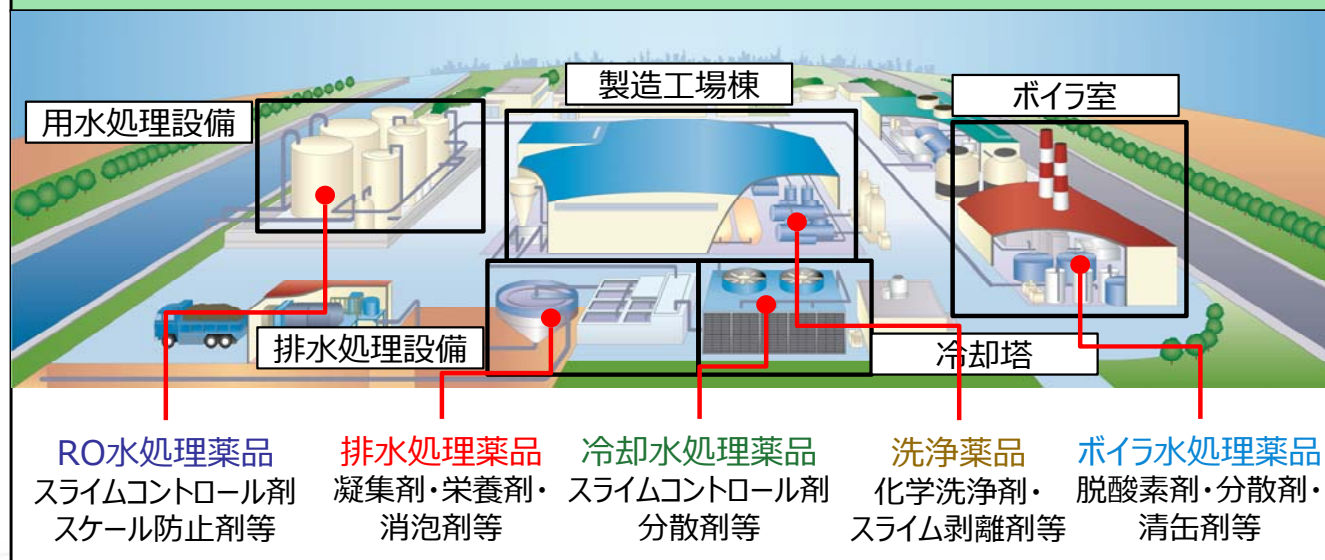
フィルター



オルガノフィルター  
D-4D



水処理薬品



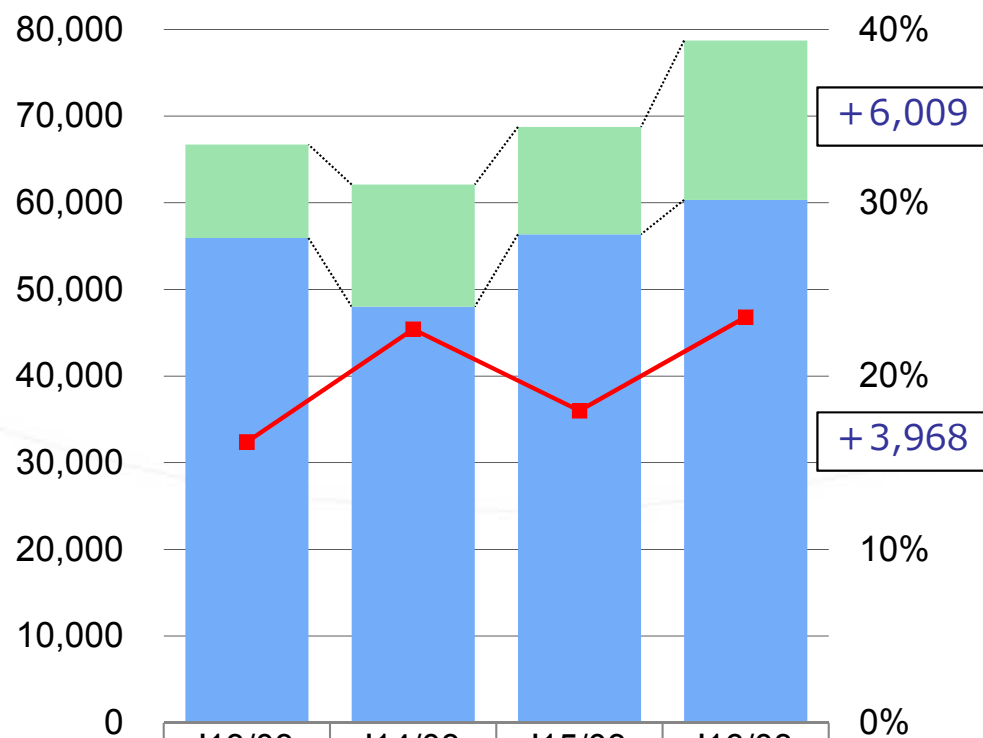
食品添加剤

主な製品	分野
ハム・ソーセージ、即席めん等向けの 品質改良剤	加工食品 高齢者・介護用食品 健康食品 等
ゼリー、たれ等向けのゲル化剤、増粘剤	
たん白、食物繊維等の食品素材	

(単位：百万円)

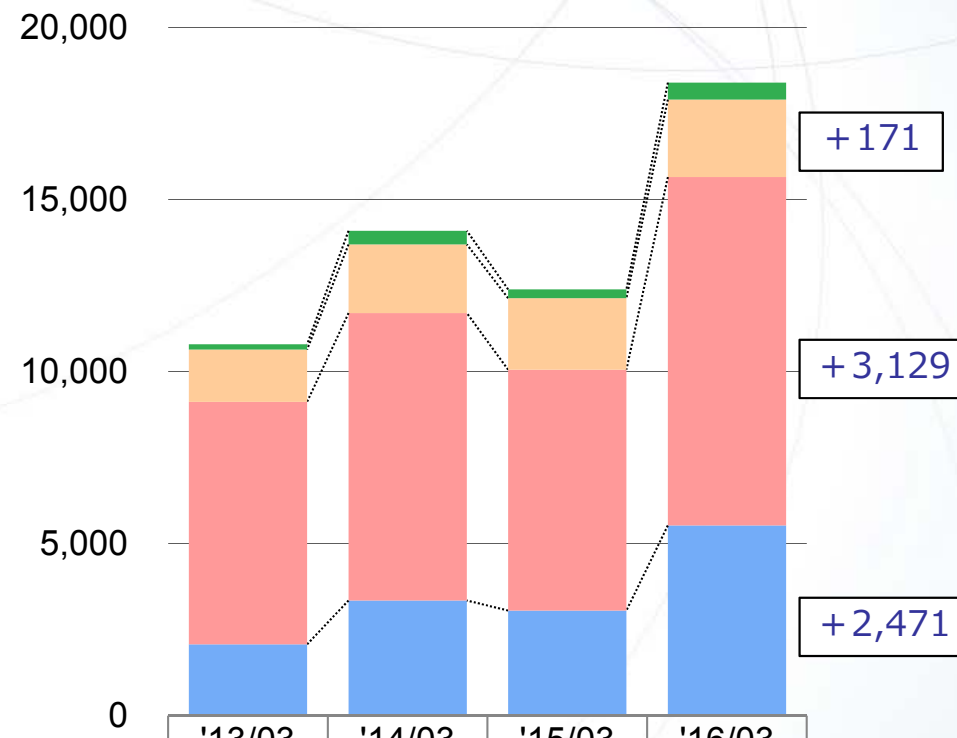
## 地域別売上高

### 国内・海外別売上高



	'13/03	'14/03	'15/03	'16/03
計	66,718	62,096	68,741	78,719
海外	10,793	14,090	12,390	18,399
国内	55,924	48,005	56,351	60,319
海外比率	16.2%	22.7%	18.0%	23.4%

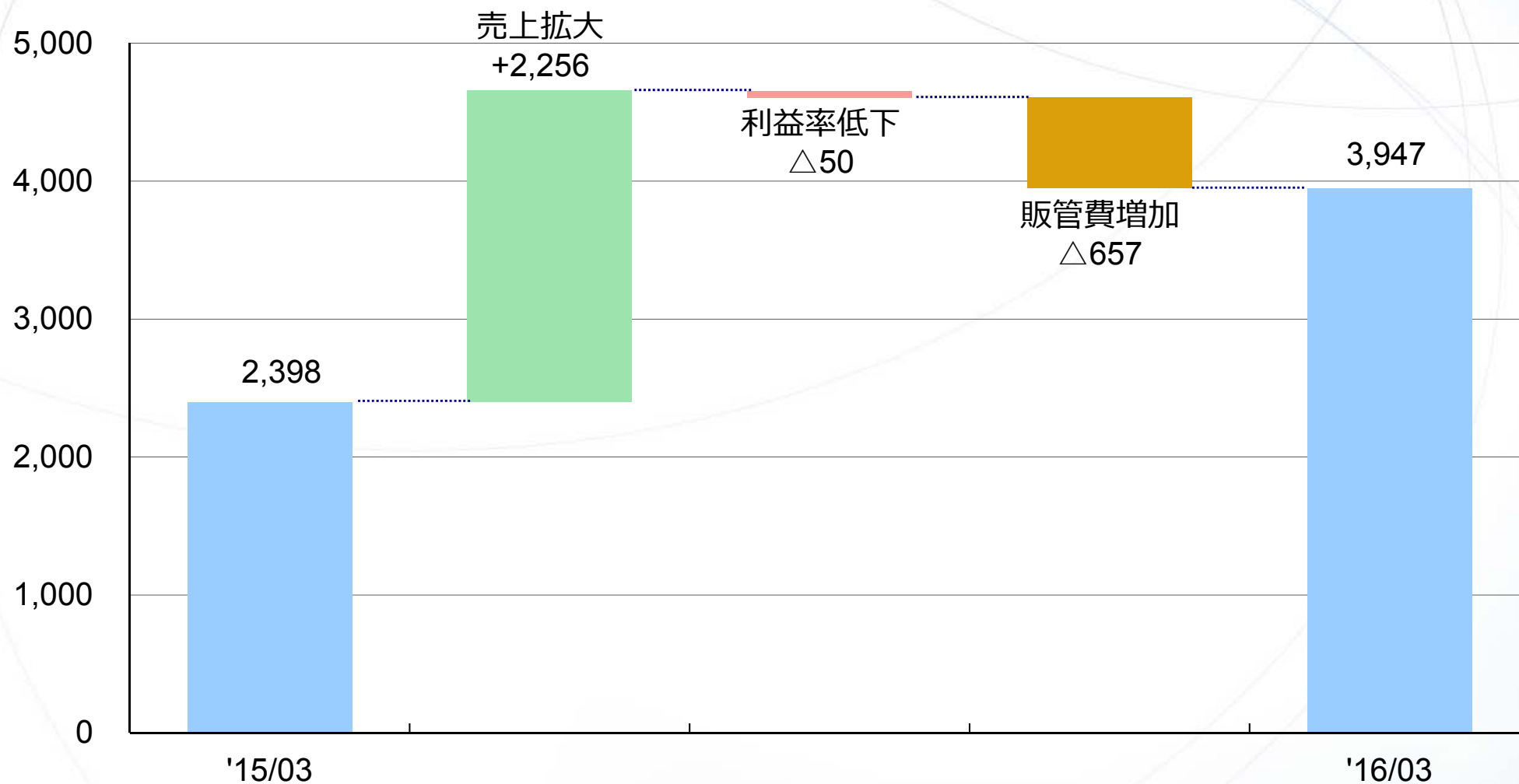
### 海外 地域別売上高



	'13/03	'14/03	'15/03	'16/03
計	10,793	14,090	12,390	18,399
その他	153	396	256	496
中国	1,519	1,993	2,076	2,247
台湾	7,045	8,352	6,999	10,128
東南アジア	2,075	3,349	3,057	5,528

2016年3月期営業利益分析（要因別）

（単位：百万円）

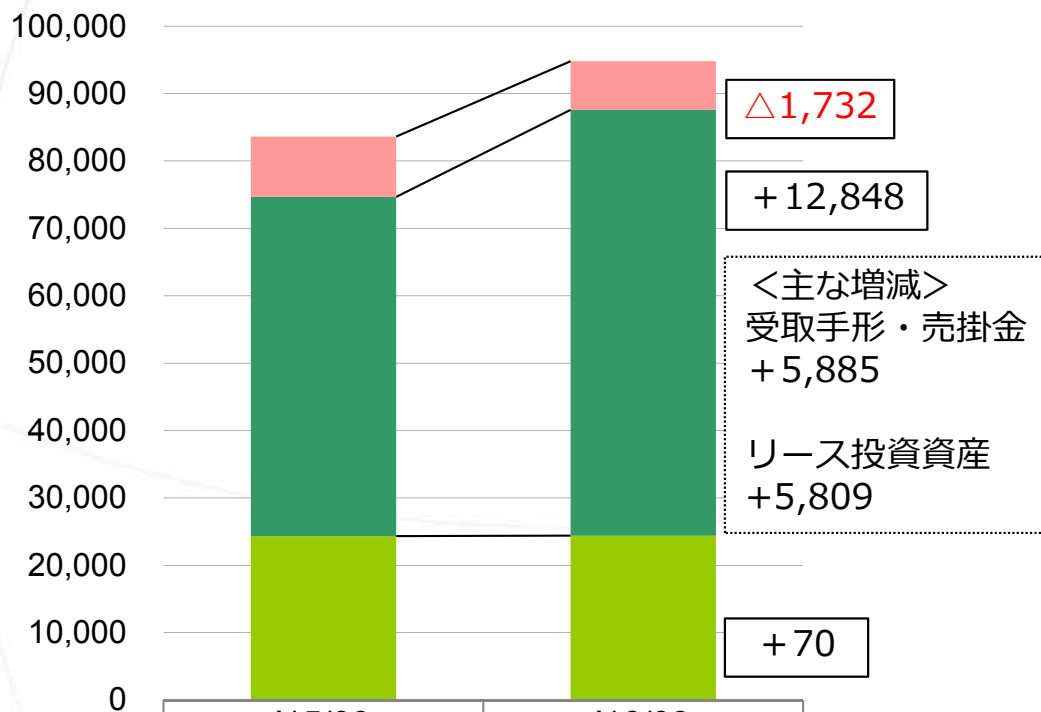


※売上拡大と利益率低下は、売上総利益率を用いて算出しています。

## 貸借対照表

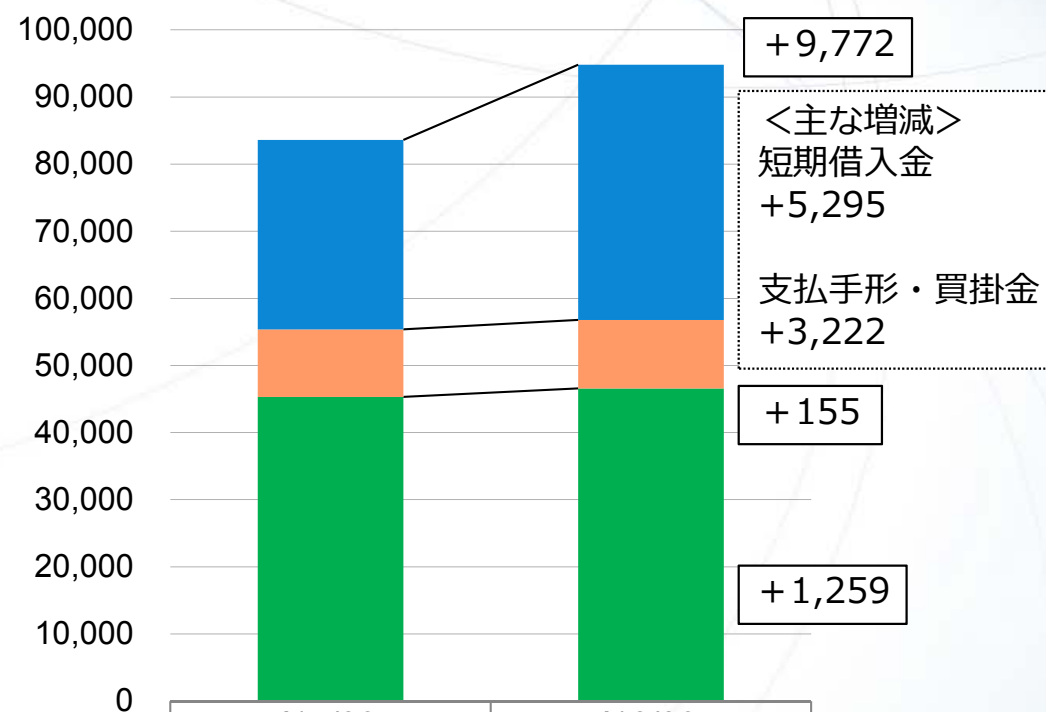
(単位：百万円)

### 資産の部



	'15/03	'16/03
計	83,609	94,795
現預金	8,939	7,207
流動資産 (現預金除)	50,354	63,202
固定資産	24,316	24,386

### 負債・純資産の部



	'15/03	'16/03
計	83,609	94,795
流動負債	28,230	38,002
固定負債	10,070	10,225
純資産	45,308	46,567

※リース投資資産…水処理加工受託用の客先工場内設置自社設備

## 中期経営計画と 2017年3月期計画

- 中期経営計画
  - ・ 中期経営計画の状況
  - ・ 事業環境の見通し
  - ・ 中期経営計画の見直し
- 2017年3月期計画
  - ・ 計画
  - ・ セグメント別計画
  - ・ 水処理エンジニアリング事業 部門・顧客別売上高
  - ・ 機能商品事業 部門別売上高
  - ・ 地域別売上高
  - ・ 2017年3月期営業利益分析（要因別）
  - ・ 電子産業向け 受注高／売上高推移
  - ・ 受注高・売上高・受注残高推移
  - ・ 主な指標

## 中期経営計画の状況

### 1. 2015年度を初年度とする中期経営計画の骨子

これまで進めてきた「ワンストップソリューション (One Stop Solutions)」をベースとして、選択と集中により、排水、薬品、海外の3事業に注力し、事業ポートフォリオの転換を加速、ソリューションビジネスの拡大を図り、安定した収益基盤を構築する

注力分野	重点施策
排水事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 要員増強・体制強化等による拡大</li> <li>➢ 担体嫌気処理・油脂分解処理等の独自技術による差別化推進</li> <li>➢ タスクチーム設立による海外での事業拡大</li> </ul>
薬品事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 要員増強・体制強化等による拡大</li> <li>➢ 次亜臭素酸系酸化剤含有薬品の国内外でのビジネス拡大</li> <li>➢ 海外供給体制の整備及び本格参入</li> </ul>
海外事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 国内部門と連携した海外現法各社の強化</li> <li>➢ 非日系顧客拡大に向けたローカルマネジャーの育成、パートナー企業とのアライアンス</li> <li>➢ 新拠点設置の継続的検討</li> </ul>



## 中期経営計画の状況

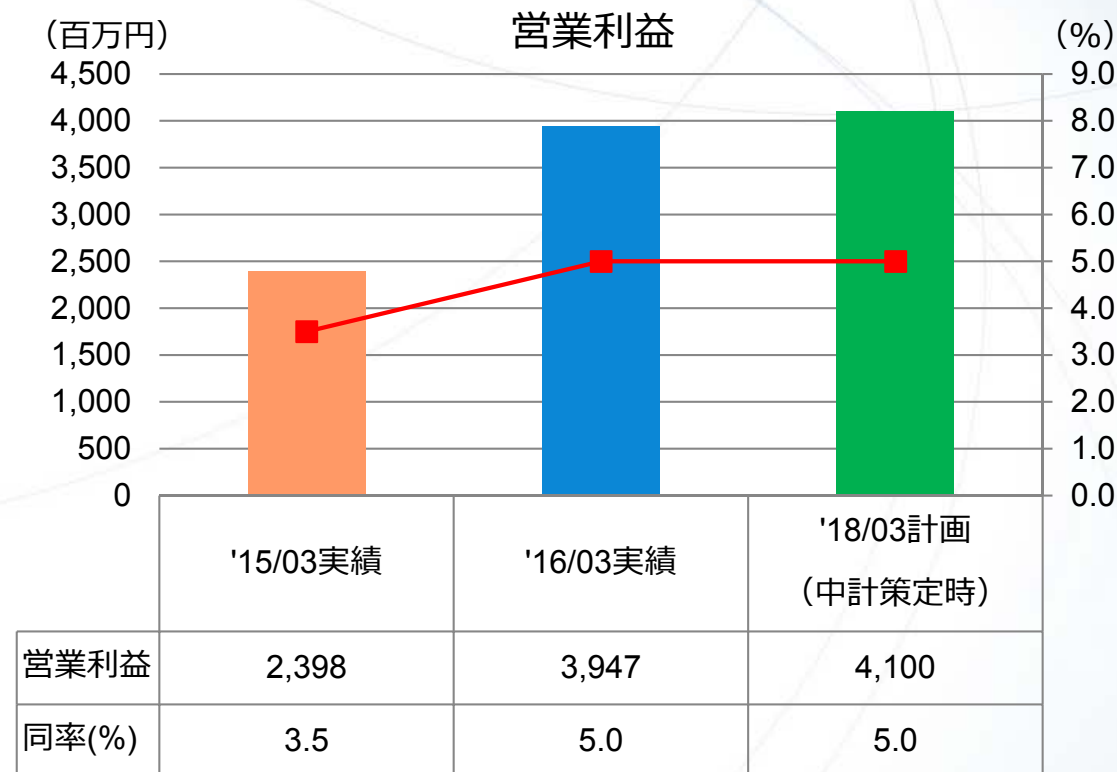
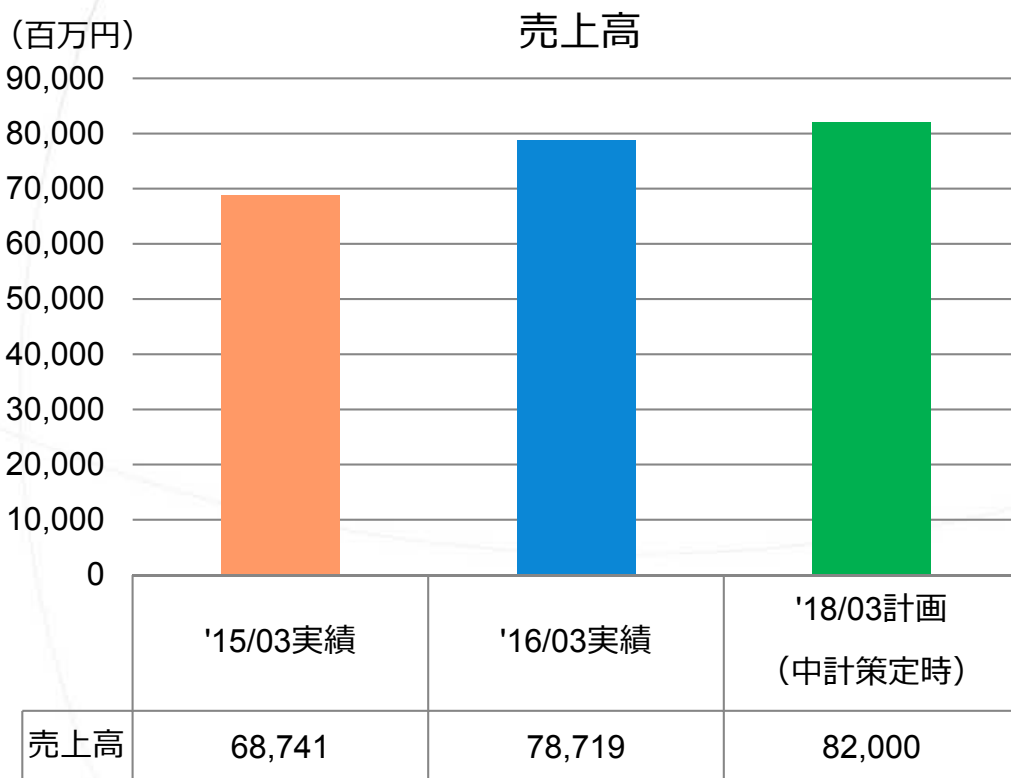
### 2. 中期経営計画の進捗

(単位：百万円)

	2015/03 実績	2016/03 実績	2018/03 計画 (2015/04策定時)
受注高	77,873	76,485	82,000
売上高	68,741	78,719	82,000
売上総利益 (%)	15,544 (22.6)	17,749 (22.5)	19,100 (23.3)
販管費	13,145	13,802	15,000
営業利益 (%)	2,398 (3.5)	3,947 (5.0)	4,100 (5.0)
経常利益	2,465	3,871	4,000
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,085	2,485	2,600

## 中期経営計画の状況

### 2. 中期経営計画の進捗



中計策定時に設定した2018年3月期の計画に向けて  
業績数値面では順調に進捗

- ◆ しかしその要因は従来から収益の柱であった電子産業分野及び機能商品事業に依存
- ◆ 必ずしも従来の事業ポートフォリオからの転換をスタートできたとはいえない

## 中期経営計画の状況

### 3. 中期経営計画の課題

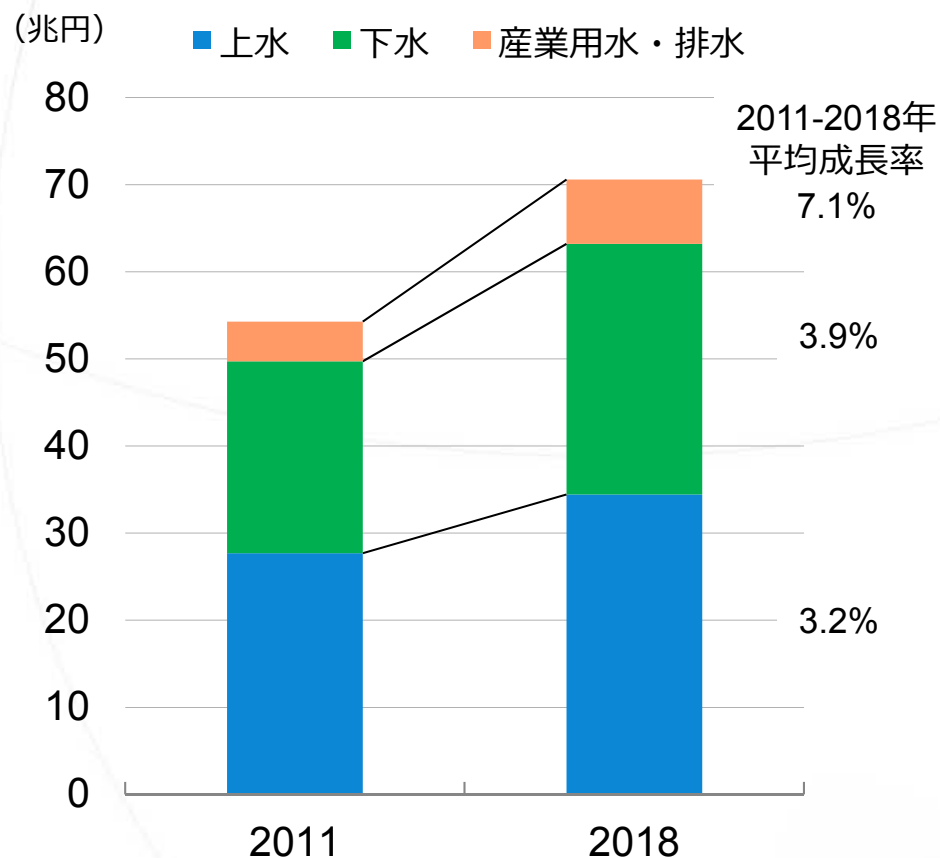
注力分野	評価・進捗
排水事業	要員・体制強化、独自技術開発等の施策は継続して実施したが、売上高、営業利益とも計画に届かず
薬品事業	要員・体制強化、次亜臭素酸塩系薬剤等の評価・提案等の施策を実施したが、売上高、営業利益とも計画に届かず
海外事業	前期比で売上高を大幅に伸ばし、営業利益も計画を上回るが、台湾の半導体分野での突出した売上増に依存

- ◆ 注力分野（排水、薬品、海外）は期待通りに進捗せず。  
今後急速な伸長を見込むのは困難
- ◆ 一方で、電子産業分野や小型純水装置等、従来から強みを有する分野では着実に収益をあげている
- ◆ 国内・海外の事業環境は大きく変動

**➡ 事業戦略の再構築が不可欠**

## 事業環境の見通し

### 1. 世界の水ビジネス市場



### 2. 世界の産業用水・排水ビジネス市場

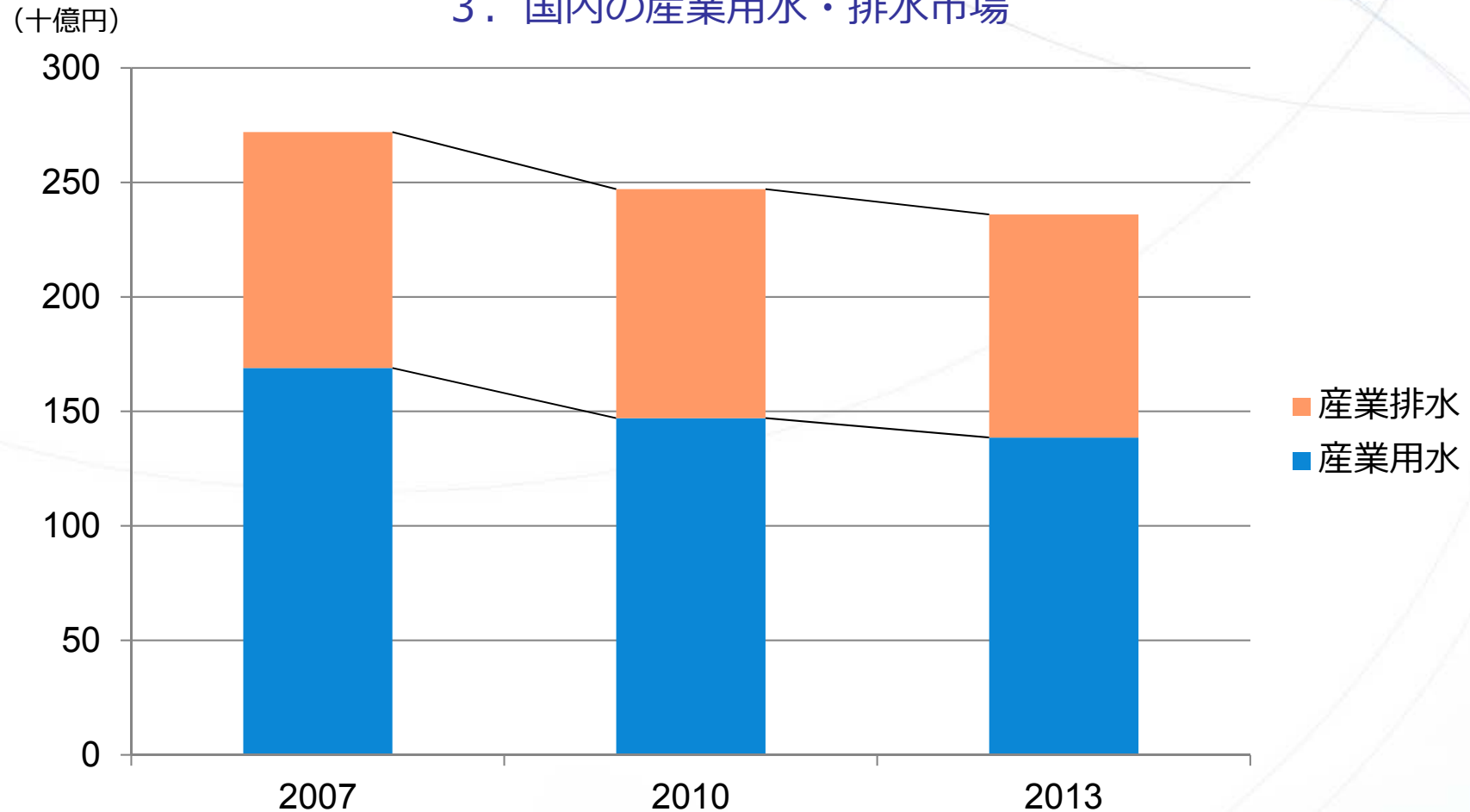
(十億円)

地域	2011年	2018年	2011-2018 平均成長率
東アジア・オセアニア	340	649	9.7%
南アジア	63	126	10.3%
西欧	212	298	4.9%
中東・北アフリカ	42	66	6.7%
北米	268	360	4.3%
中南米	131	213	7.2%

出典：経済産業省「平成26年度インフラシステム輸出促進調査等事業（水ビジネス市場に関する動向調査）報告書」（平成27年3月）

## 事業環境の見通し

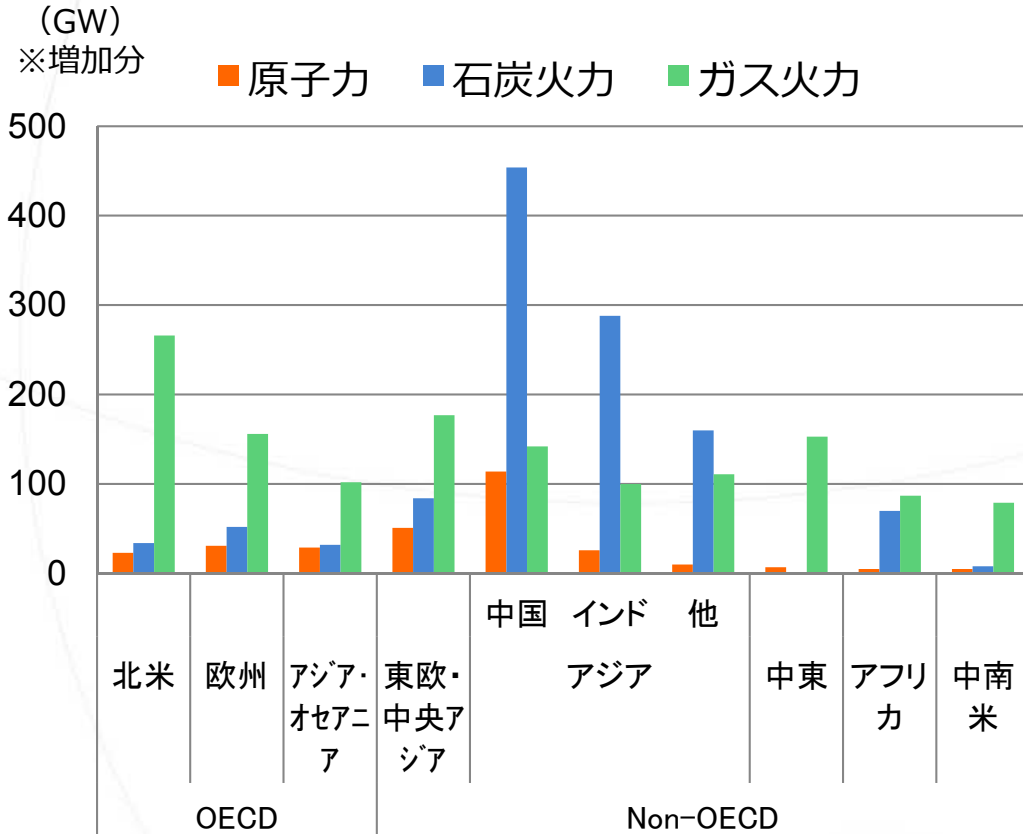
### 3. 国内の産業用水・排水市場



出典：経済産業省「平成26年度インフラシステム輸出促進調査等事業  
(水ビジネス市場に関する動向調査) 報告書」(平成27年3月)

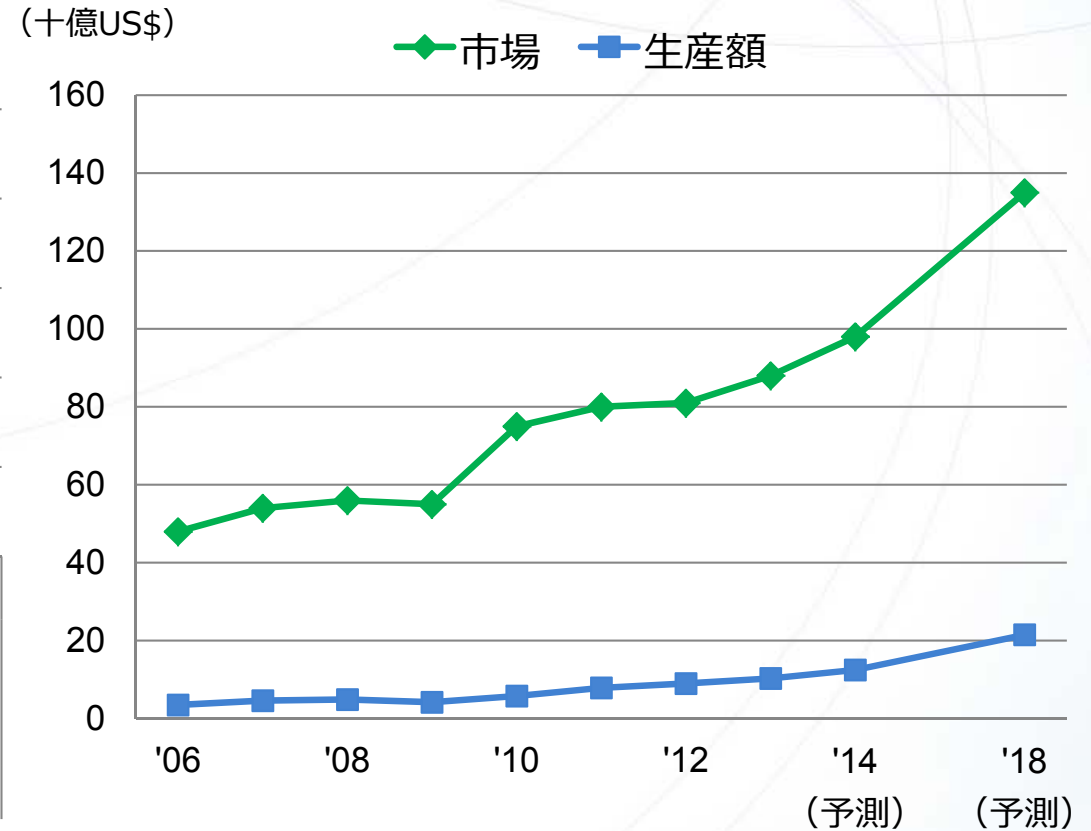
## 事業環境の見通し

### 4. 世界発電設備容量増加予測 (2013~2035年)



出典 : International Energy Agency 「World Energy Outlook 2013」 (2013年11月) より作成

### 5. 中国におけるIC市場と生産額推移



出典 : IC Insights 「Research Bulletin : DRAM, China, and Leading-Edge Foundry Driving IC Industry in 2014」 (2014年10月8日) より作成

## 中期経営計画の見直し

### 1. 事業環境の見直し

国内	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の生産拠点の統廃合や海外移転の進展、設備投資よりもM&amp;Aによる成長を志向する企業の方針等により、設備投資環境は厳しい状況が継続</li> </ul>
海外	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国経済減速の長期化、資源価格の低迷、IT関連需要の減少</li> <li>半導体製品の国産化を進める中国において関連投資が伸長</li> <li>中国、インド等のアジア地域で環境配慮型の石炭火力発電所の建設が増加</li> <li>各種産業分野での東アジア、南アジアにおける水関連事業の市場は年率で10%近い成長</li> </ul>
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場環境が大きく変化し将来予測が困難であるとともに競争も激化</li> </ul>

## 中期経営計画の見直し

### 2. 事業戦略再構築の骨子

#### 事業戦略再構築のポイント

【市場拡大期】  
シェアが小さい事業（排水、薬品、海外）の  
拡大機会が得やすい  
＜従来の考え方＞



【市場停滞期】  
当社グループに強みのある事業において  
シェア拡大と収益確保を図ることが  
今後の成長により効果的

- オルガノグループが強みを有する事業を中心とした戦略と施策の立案・着手
- 大きく変化する事業環境に対応し、常に3年先を見通した事業運営を継続するため、終了年度を固定せず、毎年ローリングする



## 中期経営計画の見直し

### 2. 事業戦略再構築の骨子

#### オルガノグループが強みを有する分野【現状認識と将来性】

電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内での豊富な実績と圧倒的なシェア</li> <li>・高い技術力</li> <li>・原子力発電所の再稼働進捗に伴うソリューションビジネスの伸長</li> <li>・インド・中国をはじめとするアジア諸国での発電設備の高い成長性</li> </ul>
電子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高い技術力</li> <li>・国内・台湾半導体分野での高いシェアと豊富な実績</li> <li>・安定的な収益基盤</li> <li>・中国市場の高い成長性</li> </ul>
機能商品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定的な収益基盤</li> <li>・全国をカバーする販売ネットワーク</li> <li>・イオン交換樹脂をはじめとする機能材料の機能開発と市場開拓</li> </ul>

## 中期経営計画の見直し

### 2. 事業戦略再構築の骨子

経営ビジョン	<p>主要アジア経済圏において、産業が求める品質の水を、最も合理的なコストで、最もタイムリーに提供できる、収益力あるエンジニアリング会社</p>
目標経営指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 2018年度までにROEを安定的に5%以上、将来的に8%以上を目指す</li> <li>◆ それを実現するための最重要経営指標を営業利益率とし、2018年度以降安定的に5%以上が達成できる収益構造とする</li> </ul>

#### 【ROE向上に関する考え方】

		収益性	資産効率性	財務レバレッジ
ROE	=	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}}$	=	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}} \times \frac{\text{売上高}}{\text{総資産}} \times \frac{\text{総資産}}{\text{自己資本}}$
2014年度	2.4%	1.6%	0.82	1.8
2015年度	5.4%	3.2%	0.83	2.0

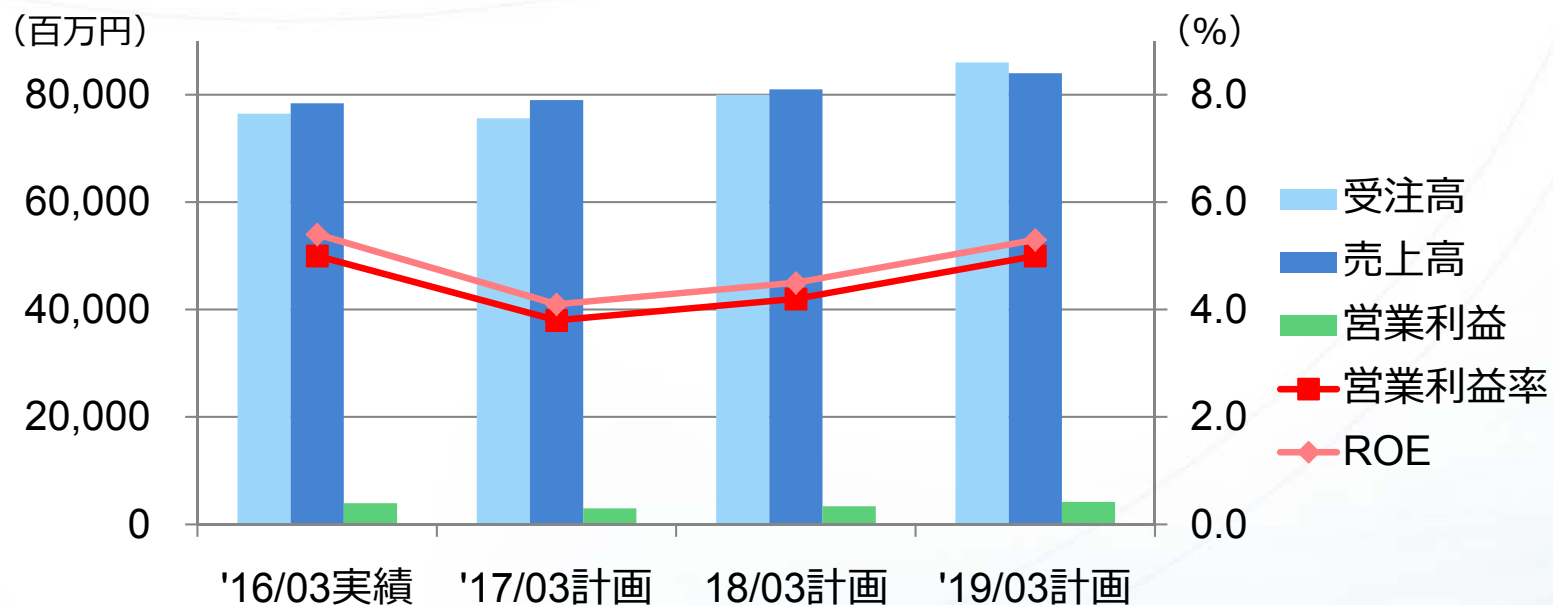
ROE向上のために利益面の改善に注力

## 中期経営計画の見直し

(単位：百万円)

### 3. 修正経営指標

	2016/03 実績	2017/03 計画	2018/03 計画	2019/03 計画
受注高	76,485	76,500	80,000	86,000
売上高	78,719	79,000	81,000	84,000
営業利益	3,947	3,000	3,400	4,200
営業利益率(%)	5.0	3.8	4.2	5.0
ROE (%)	5.4	4.1	4.5	5.3

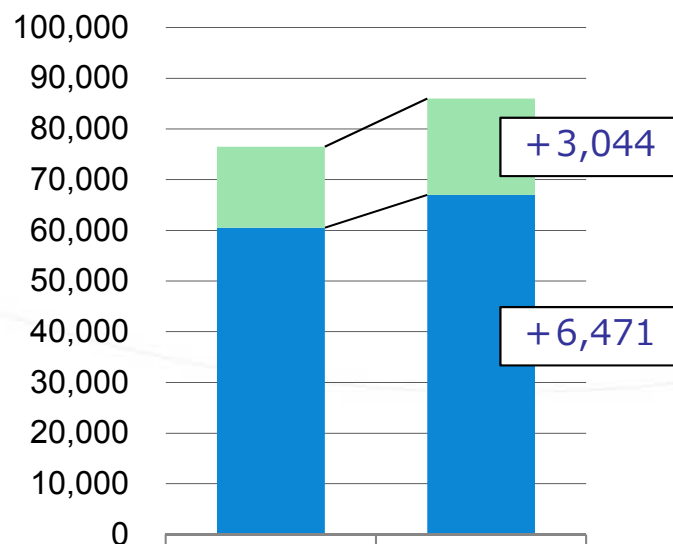


## 中期経営計画の見直し

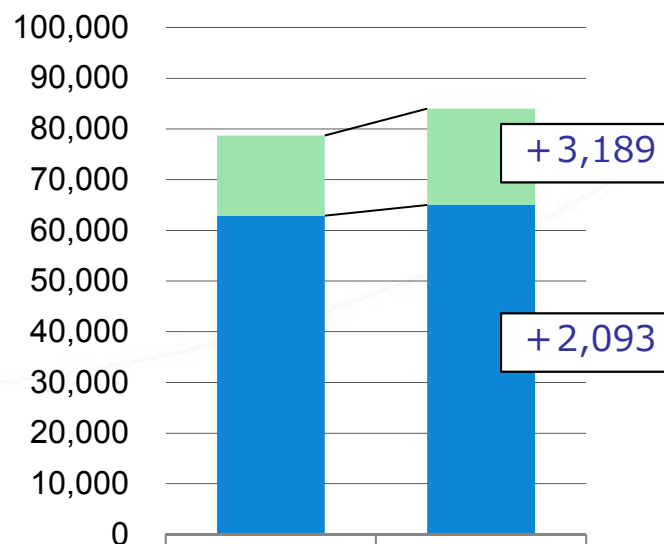
### 3. 修正経営指標<セグメント別計画>

(単位：百万円)

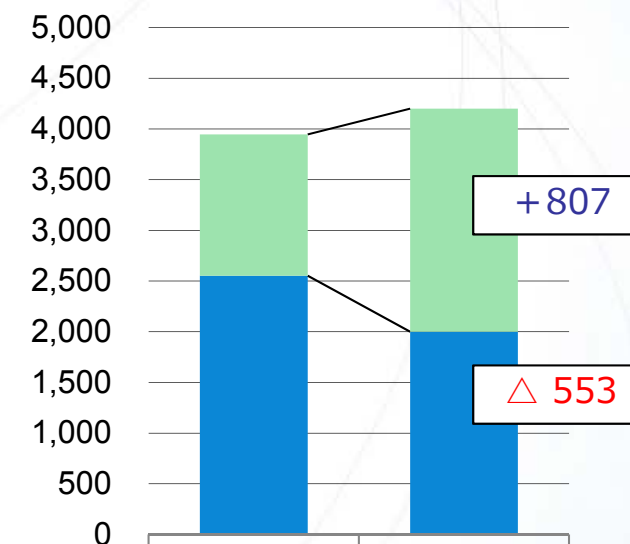
受注高



売上高



営業利益



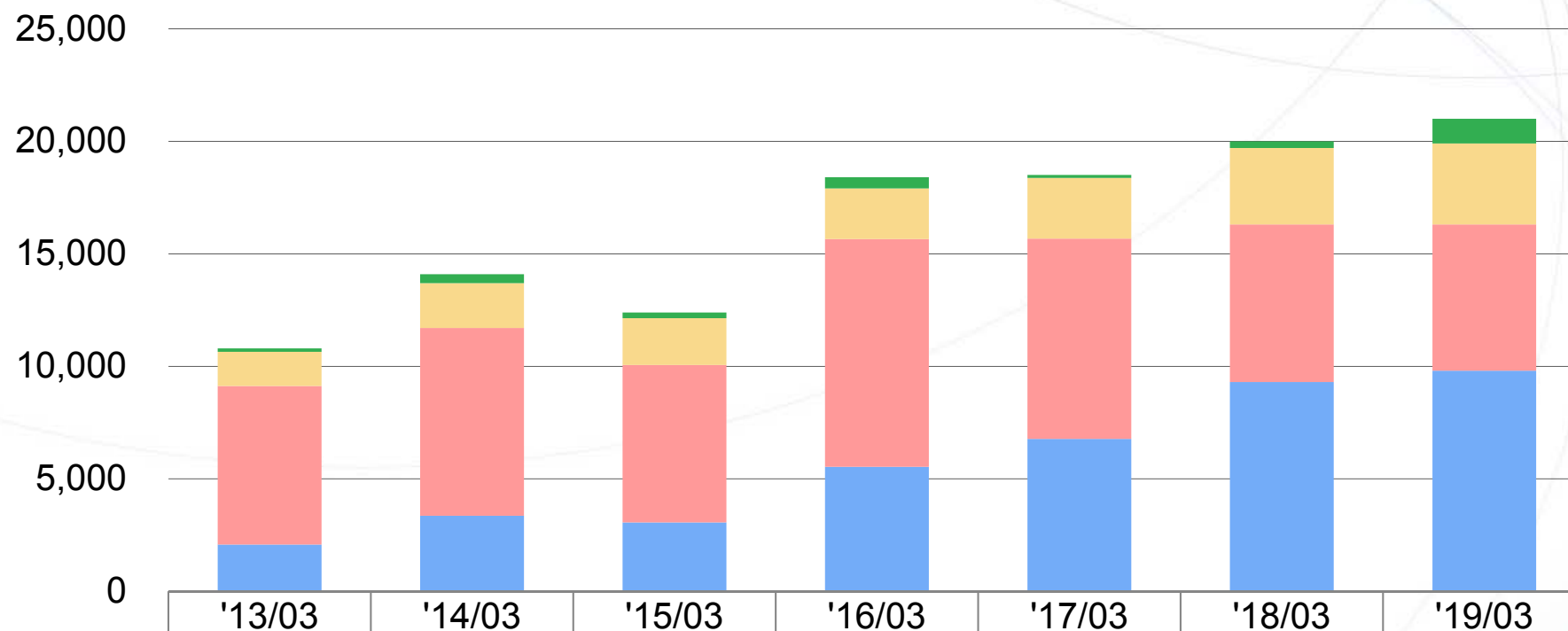
	'16/03	'19/03
計	76,485	86,000
■ 機能商品	15,956	19,000
■ 水処理エンジ	60,529	67,000

	'16/03	'19/03
計	78,719	84,000
■ 機能商品	15,811	19,000
■ 水処理エンジ	62,907	65,000

	'16/03	'19/03
計	3,947	4,200
■ 機能商品	1,393	2,200
■ 水処理エンジ	2,553	2,000

## 中期経営計画の見直し

### 4. 海外 地域別売上高



	'13/03	'14/03	'15/03	'16/03	'17/03	'18/03	'19/03
計	10,793	14,090	12,390	18,399	18,500	20,000	21,000
■ その他	153	396	256	496	130	300	1,100
■ 中国	1,519	1,993	2,076	2,247	2,700	3,400	3,600
■ 台湾	7,045	8,352	6,999	10,128	8,900	7,000	6,500
■ 東南アジア	2,075	3,349	3,057	5,528	6,770	9,300	9,800

## 中期経営計画の見直し

### 5. 今後の中期経営計画推進のための新たな重点施策(1)

分野	施策
電力	国内の水関連事業の確実な維持
	海外の電力需要拡大地域での事業構築促進
電子	超純水をはじめとする洗浄媒体を供給する装置・システム事業の拡充
機能商品	標準型水処理機器を中心とする製品の開発・機能向上
	イオン交換樹脂等の機能材料の機能開発
	新分野への展開による事業規模の拡大

## 中期経営計画の見直し

### 5. 今後の中期経営計画推進のための新たな重点施策(2)

分野	施策
研究・技術 開発	<p>長期成長に資する独自性や進歩性の高い製品・技術開発への資源投入</p> <p>&lt;重点分野&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○半導体製造プロセス向け製品・技術の高度化</li> <li>○差別化した新規水処理薬品の継続的開発</li> <li>○各種機能材料の機能開発・新規用途開発</li> </ul>
収益性	<p>資源の最適配分とコスト削減                      ⇒高収益事業・成長事業への注力</p>
海外	<p>事業部・現地法人連携による各地域の市場や特性に合わせた戦略策定</p>
	<p>ローカル独自の技術開発促進による競争力強化</p>
	<p>非日系顧客拡大に向けたローカルマネジャーの育成</p>

## 2017年3月期計画

## 計画概要

- 収益性改善、既存事業強化のための技術・製品の創出 及び改良、中長期の成長を可能とする研究開発の充実に資源投入
- 2017年3月期計画：売上高：前期並み／営業利益：前期比減

(単位：百万円)

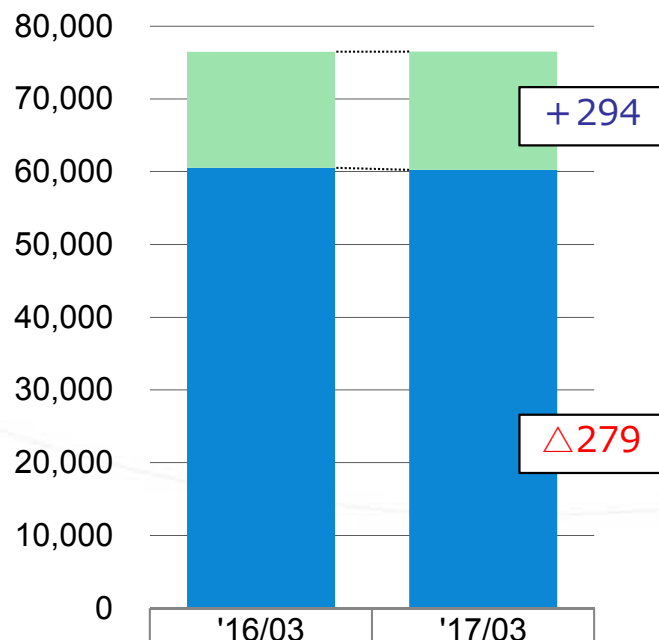
	2016/03 実績	2017/03 計画	前期差
受注高	76,485	76,500	+ 15
売上高	78,719	79,000	+ 281
売上総利益 (%)	17,749 (22.5)	17,300 (21.9)	△ 449 (△ 0.6pt)
販管費	13,802	14,300	+ 498
営業利益 (%)	3,947 (5.0)	3,000 (3.8)	△ 947 (△ 1.2pt)
経常利益	3,871	2,900	△ 971
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,485	1,950	△ 535



## セグメント別計画

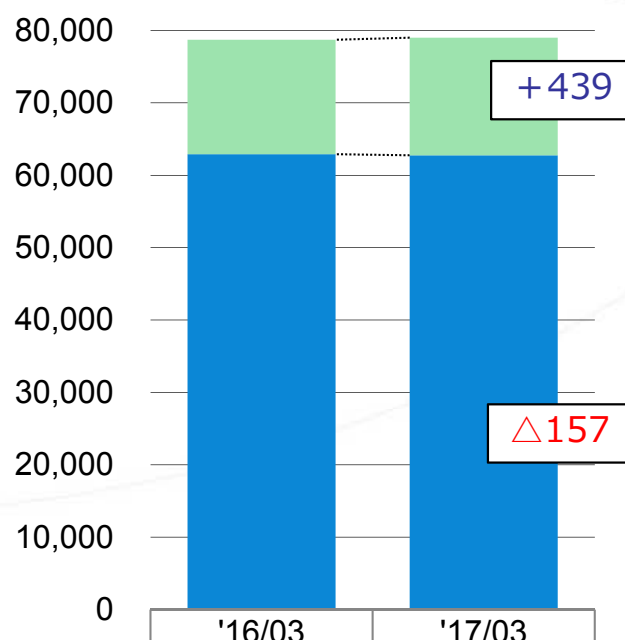
(単位：百万円)

### 受注高



	'16/03	'17/03
計	76,485	76,500
機能商品	15,956	16,250
水処理エンジ	60,529	60,250

### 売上高



	'16/03	'17/03
計	78,719	79,000
機能商品	15,811	16,250
水処理エンジ	62,907	62,750

### 営業利益



	'16/03	'17/03
計	3,947	3,000
機能商品	1,393	1,420
水処理エンジ	2,553	1,580

#### 【機能商品事業】

営業利益：15年度に引き続き増収も、固定費の増加により利益は15年度とほぼ同水準

#### 【水処理エンジ事業】

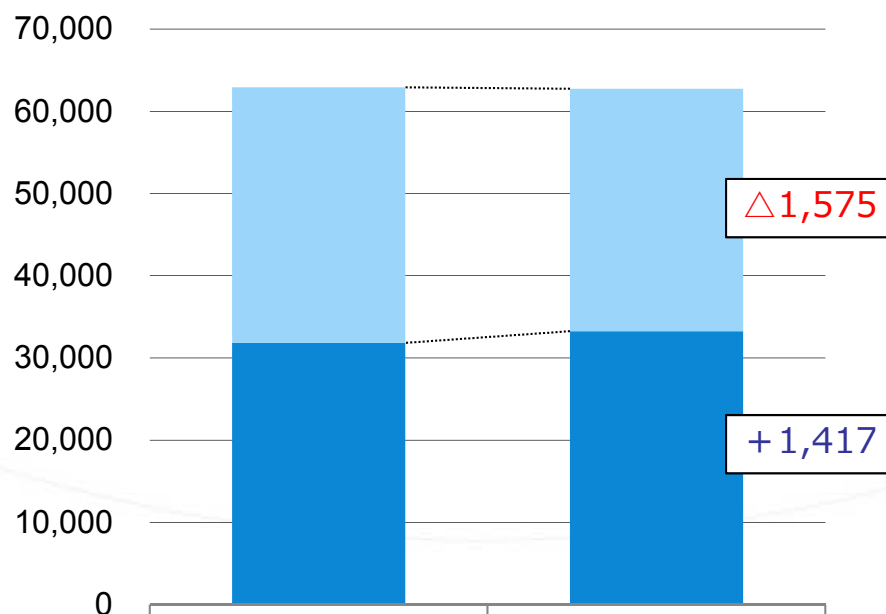
売上高：一般産業分野向けプラントで増加も、電子産業分野向けプラントで減少

営業利益：利益率の高いソリューション分野の売上が減少すること等から営業利益も減少

## 【水処理エンジニアリング事業】部門・顧客別売上高

(単位：百万円)

### 部門別売上高



	'16/03	'17/03
計	62,907	62,750
■ ソリューション	31,075	29,500
■ プラント	31,833	33,250

#### 【ソリューション】

主に国内電子産業向けメンテナンスで減少

#### 【プラント】

国内外電子産業向けで減少も国内外一般産業向け排水プラントで増加

### 顧客別売上高



	'16/03	'17/03
計	62,907	62,750
■ 一般産業	20,590	25,910
■ 電力・上下水道	11,959	10,980
■ 電子産業	30,359	25,860

#### 【一般産業】

主に排水プラントで増加

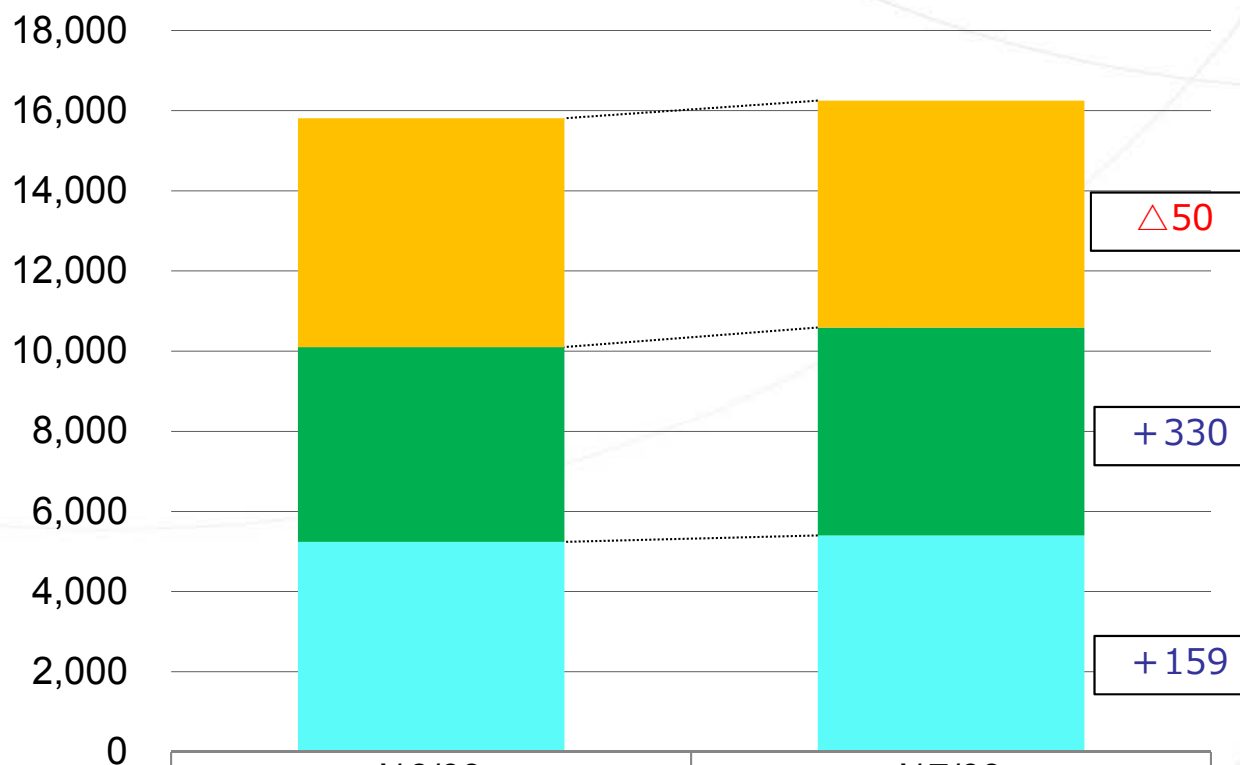
#### 【電子産業】

国内外プラント／メンテナンスで減少

【機能商品事業】 部門別売上高

(単位：百万円)

部門別売上高

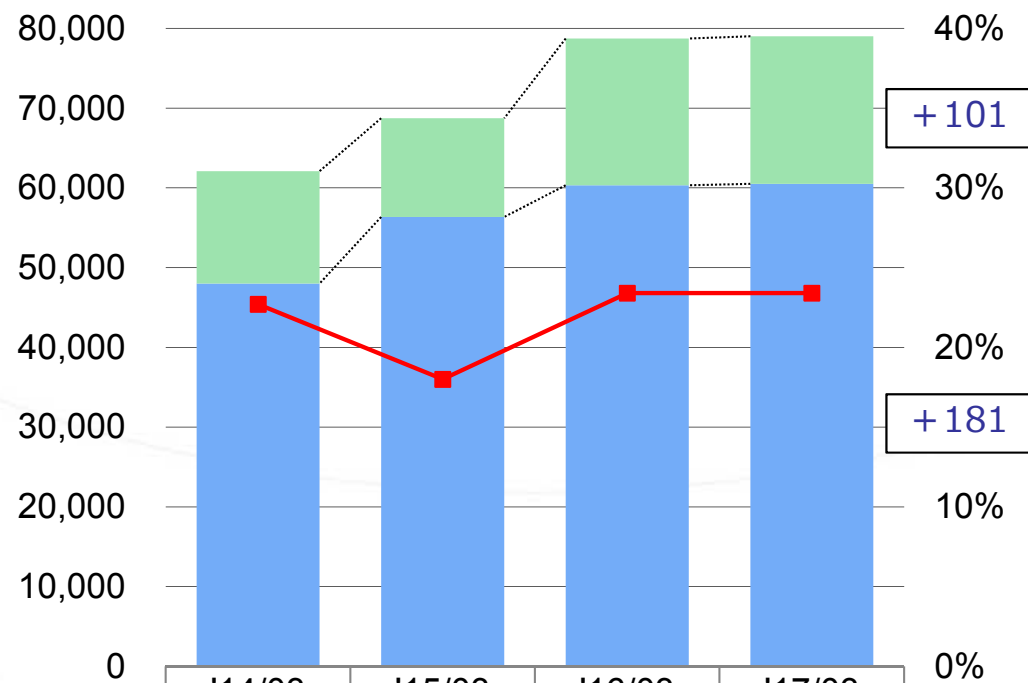


	'16/03	'17/03
計	15,811	16,250
■ 食品添加剤	5,710	5,660
■ 水処理薬品	4,860	5,190
■ 標準型機器・フィルター	5,241	5,400

(単位：百万円)

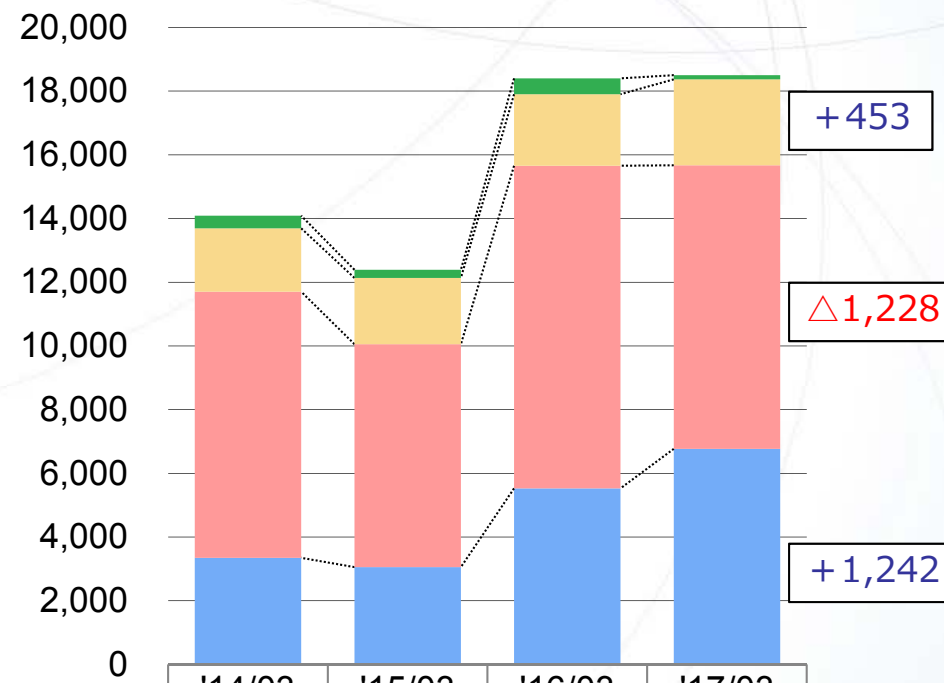
## 地域別売上高

### 国内・海外別売上高



	'14/03	'15/03	'16/03	'17/03
計	62,096	68,741	78,719	79,000
海外	14,090	12,390	18,399	18,500
国内	48,005	56,351	60,319	60,500
海外比率	22.7%	18.0%	23.4%	23.4%

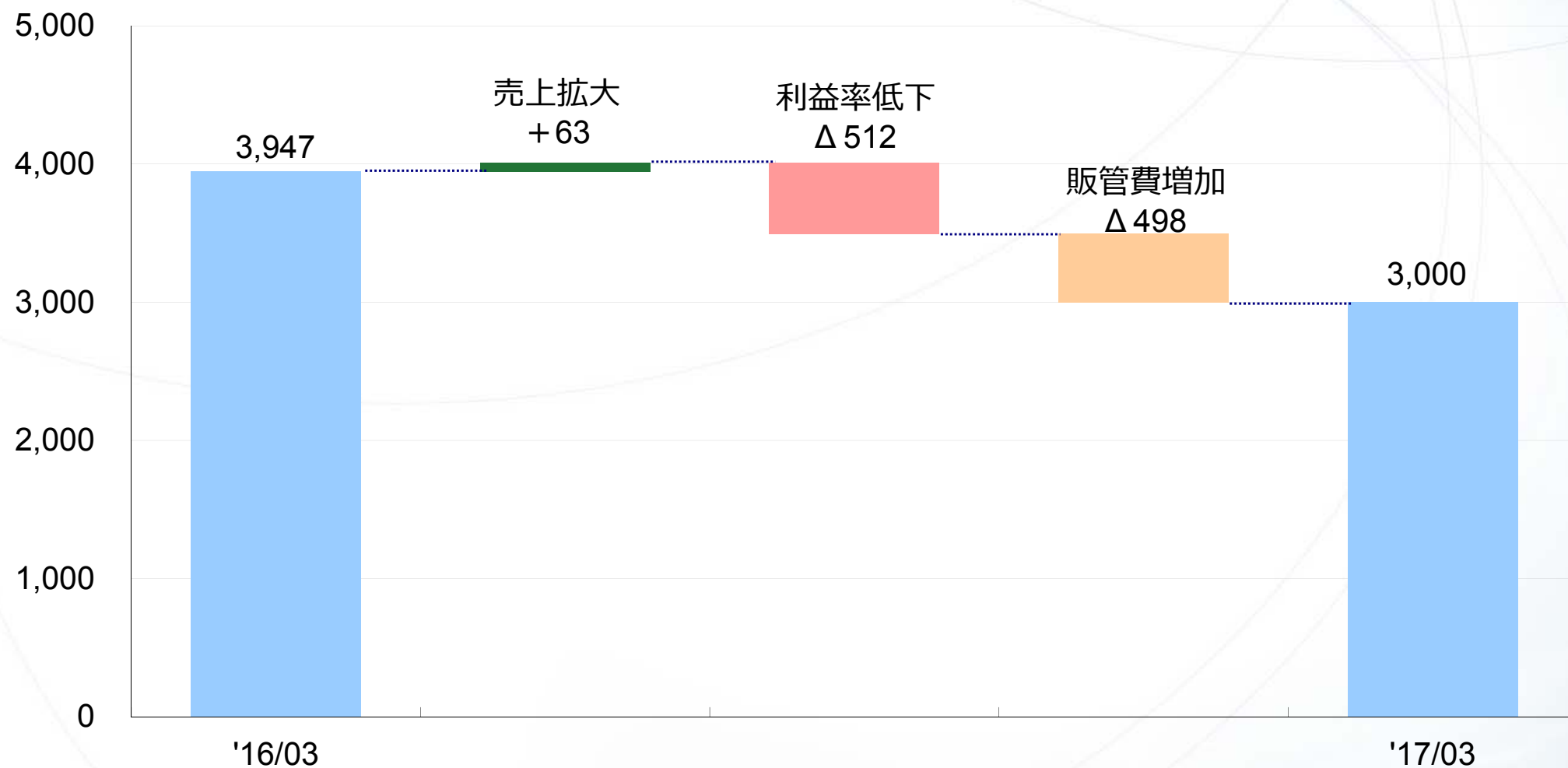
### 海外 地域別売上高



	'14/03	'15/03	'16/03	'17/03
計	14,090	12,390	18,399	18,500
その他	396	256	496	130
中国	1,993	2,076	2,247	2,700
台湾	8,352	6,999	10,128	8,900
東南アジア	3,349	3,057	5,528	6,770

## 2017年3月期営業利益分析（要因別）

（単位：百万円）

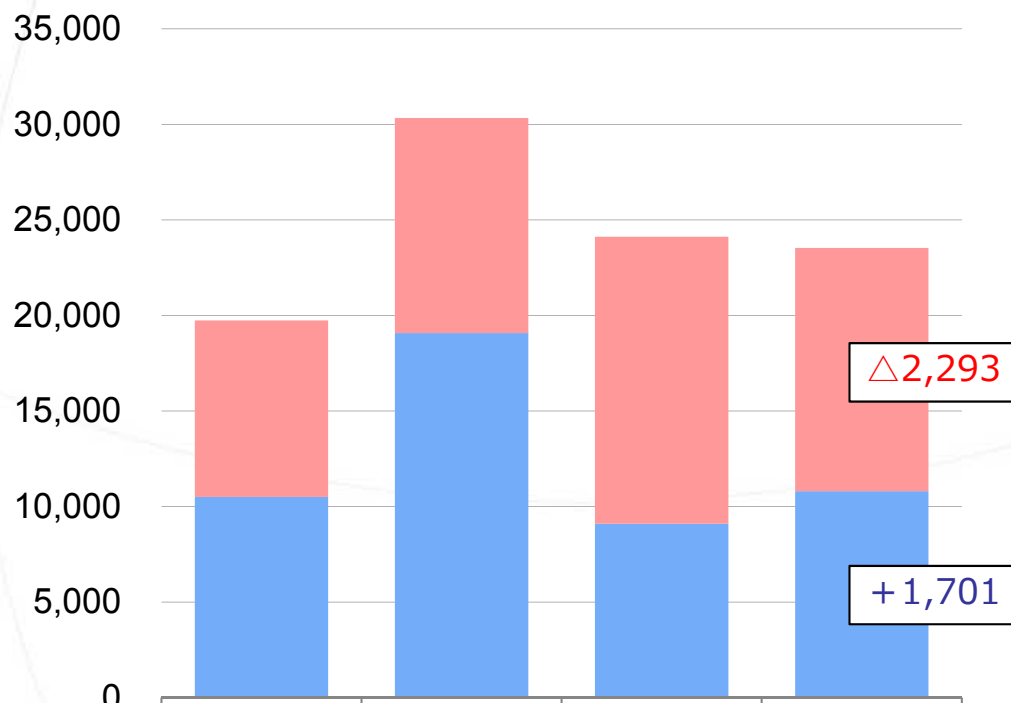


※売上拡大と利益率低下は、売上総利益率を用いて算出しています。

## 電子産業向け 受注高／売上高推移

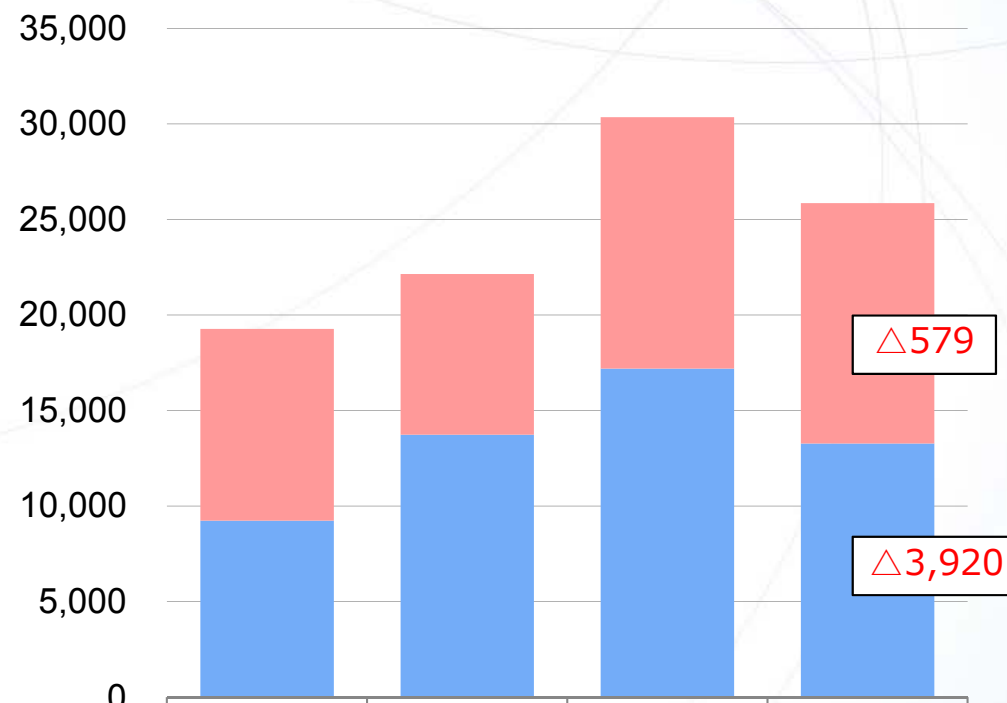
(単位：百万円)

### 受注高



	'14/03	'15/03	'16/03	'17/03
計	19,745	30,335	24,127	23,535
海外	9,240	11,250	15,023	12,730
国内	10,505	19,085	9,104	10,805

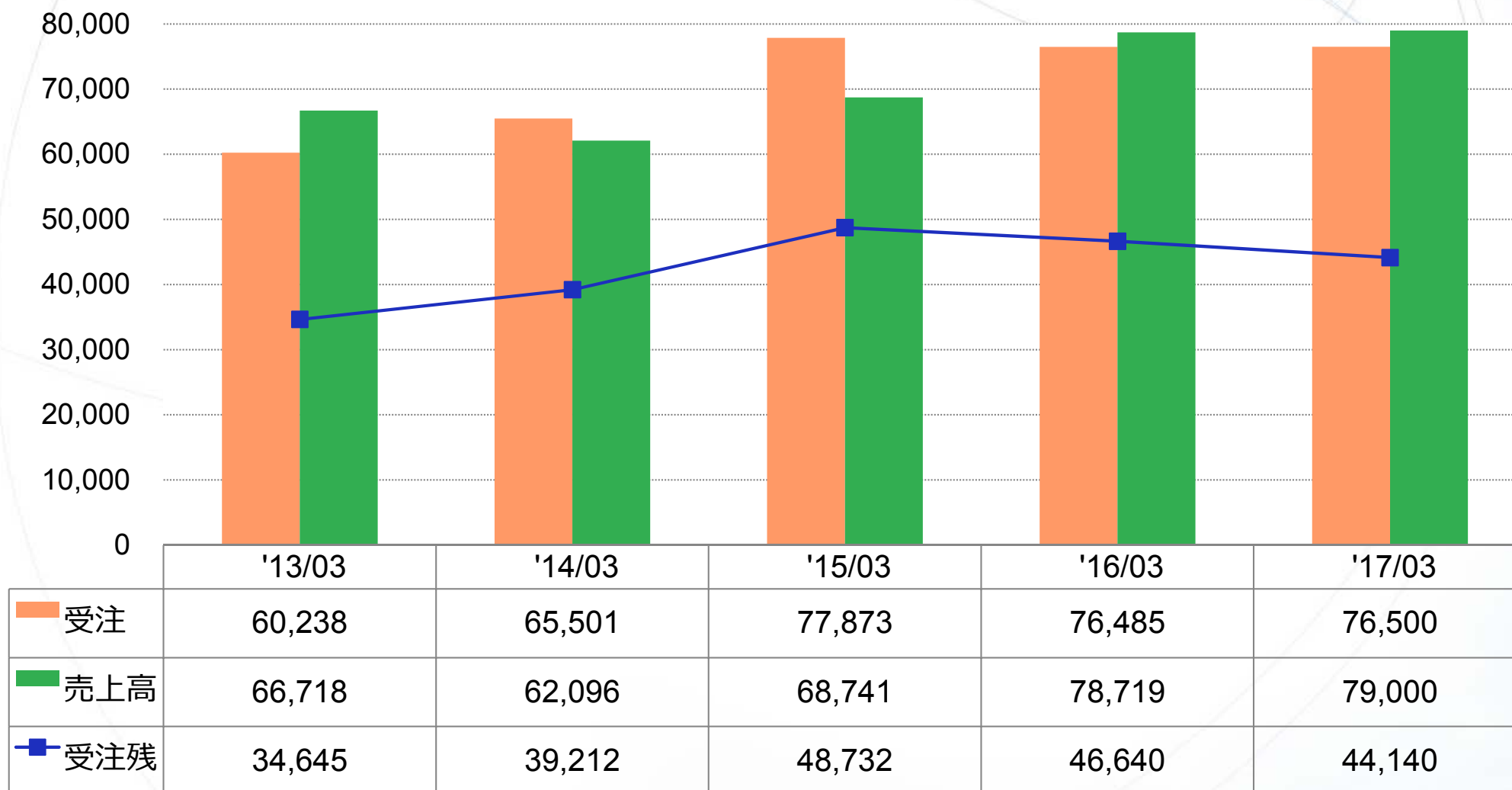
### 売上高



	'14/03	'15/03	'16/03	'17/03
計	19,275	22,145	30,359	25,860
海外	10,033	8,406	13,164	12,585
国内	9,242	13,739	17,195	13,275

## 受注高・売上高・受注残高推移

(単位：百万円)



## 主な指標

	2016年3月期	2017年3月期 (計画)
設備投資額 (百万円)	603	800
技術研究費 (百万円)	1,407	1,550
減価償却費 (百万円)	950	950
有利子負債 (百万円)	17,412	17,800
従業員数 (人)	2,088	2,110
年間配当金 (円)	9	10
ROE (%)	5.4	4.1



## コーポレートガバナンス・コードへの取組み

## コーポレートガバナンス・コードへの取組み (1)

項目	概要	
オルガノ コーポレートガバナンス・ガイドラインの制定	2015年12月制定	
取締役会実効性 分析・評価	以下の5つの論点で取締役、監査役を対象にアンケート（2016年4月） <ul style="list-style-type: none"> <li>・取締役会の実効性</li> <li>・取締役会の構成</li> <li>・取締役会の運営状況</li> <li>・社外者への支援体制</li> <li>・投資家・株主との関係・対話</li> </ul>	
	アンケートに基づいて抽出した課題について改善策を検討予定（2016年6月）	
	＜主な課題と検討予定内容＞	
	①社会的意義と企業目的の明確化	企業コンセプト、経営理念、企業理念、CSR等について見直しを検討
	②取締役の選任	求められる資質、能力について基準の明確化検討
③取締役報酬	報酬委員会の設置、業績連動割合の増加・報酬基準の一定の開示検討	
④投資家・株主との関係・対話	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度より株主総会後に株主説明会を実施</li> <li>・株主・投資家の意見収集と発信方法の検討</li> </ul>	

## コーポレートガバナンス・コードへの取組み (2)

項目	概要
役員選任に係る方針・基準の明確化	取締役、取締役社長の資質、執行役員の資質・能力について基準を明確化（2016年5月）
取締役報酬制度の見直し	報酬委員会の設置（2016年4月）
	報酬に占める業績連動割合の増加（インセンティブ強化）について検討中 ※2017年度には中長期業績に連動する報酬制度導入を目指す
資本効率の重視	2018年度までにROEが安定的に5%以上 （中期経営計画において目標経営指標として設定）
株主との建設的な対話	IRの充実化検討 第71回株主総会後に株主説明会を開催
政策保有株式の評価	明確化した基準に基づき、2016年6月以降評価を実施

## 参考資料

- インド合併事業の状況
- データ：連結業績推移

## インド合併事業の状況 (Murugappa Organo Water Solutions Private Limited)

2015年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Murugappaグループとの合併事業開始 (2015.9~)</li> <li>・ オルガノからの技術移管中</li> <li>・ 基幹産業 (食品・飲料、ファーマ分野等) 向けを中心に活発な引き合いに対応</li> </ul>
--------	--

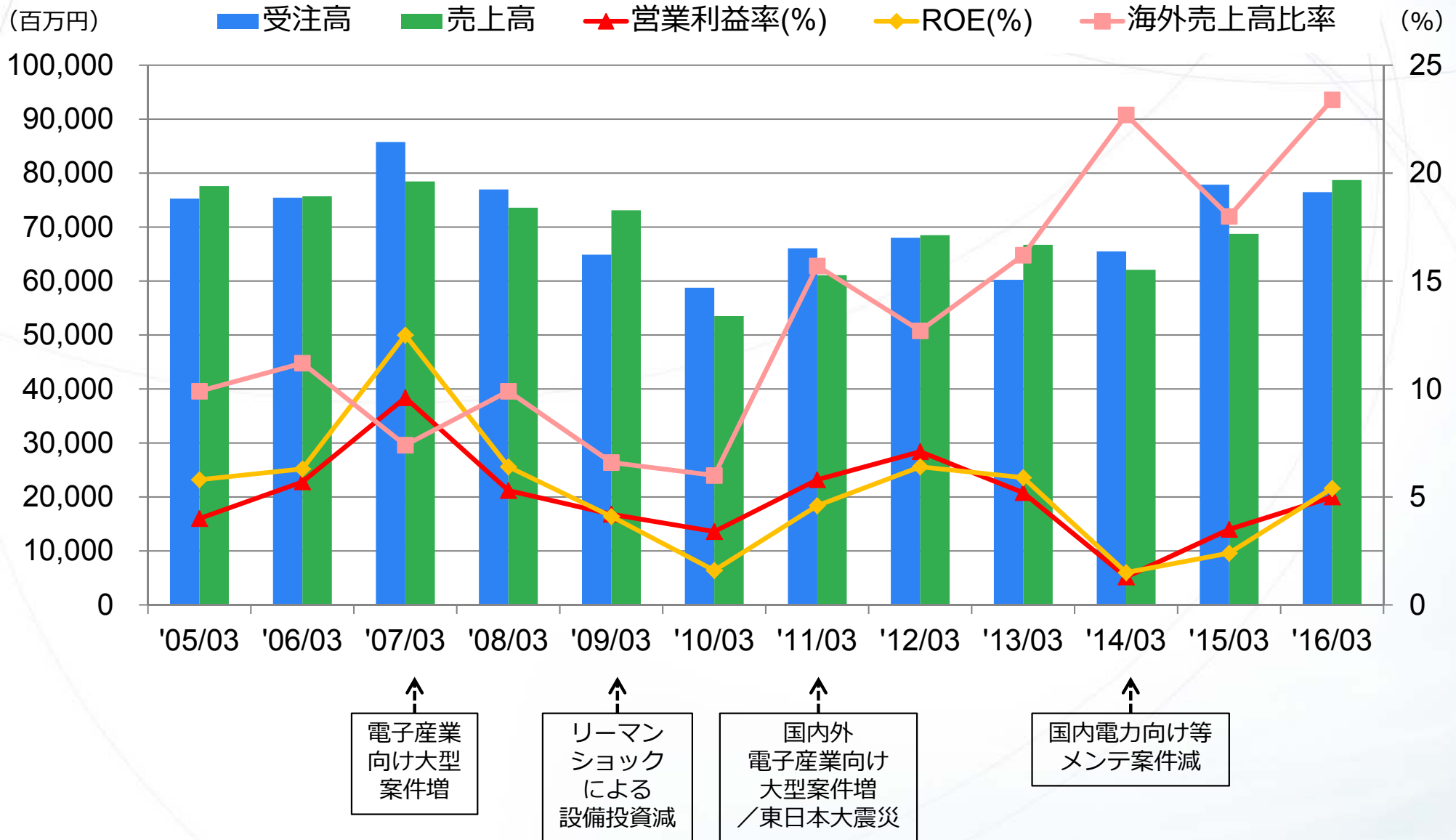


中期的な 事業環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 産業拡大継続中</li> <li>○ 政策による水処理市場拡大                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製造業排水規制強化 ⇒ 排水処理・排水回収需要増</li> <li>・ 「Make in India」政策推進 ⇒ 外資製造業の進出拡大</li> </ul> </li> </ul>	施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主要コンサルとの関係強化</li> <li>○ 差別化技術の導入促進</li> <li>○ 納入プロセス、品質管理強化</li> </ul>
--------------	---	----	---



3年後に 目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ターゲット市場における水処理主要プレーヤーとしての地位確保</li> <li>・ 更なる成長に向けた受注~納入体制基盤</li> <li>・ 受注・売上高：20億円規模に成長</li> </ul>
--------------	---

【データ】 連結業績推移



# オルガノ株式会社

## お問合せ先

経営統括本部 経営企画部

TEL : 03-5635-5111 / FAX : 03-3699-7240 / E-mail : [info@organo.co.jp](mailto:info@organo.co.jp)

<http://www.organo.co.jp>

本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。

2016年3月期決算説明会 補足資料



**オルガノ株式会社**

2016年5月16日



## <目 次>

1.	2016年3月期決算報告及び2017年3月期計画		
	① 連結損益	-----	1
	② セグメント別（連結）	-----	2
	③ 電子産業向 受注高・売上高（連結）	-----	2
2.	主な指標	-----	3

### ■■業績の予想について■■

本資料に記載される業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。



# オルガノ株式会社

# 1. 2016年3月期決算報告及び2017年3月期計画

## ① 連結損益

(単位：百万円)

	2015年3月期		2016年3月期					2017年3月期 (計画)			
	通期		第2四半期累計期間		通期			第2四半期累計期間		通期	
	実績	前期比	実績	前期比	計画	実績	前期比	計画	前期比	計画	前期比
受注高	77,873	18.9%	40,820	14.3%	75,000	76,485	△ 1.8%	31,500	△ 22.8%	76,500	0.0%
売上高	68,741	10.7%	33,479	16.9%	77,000	78,719	14.5%	32,000	△ 4.4%	79,000	0.4%
海外売上高 (海外売上高比率)	12,390	△ 12.1%	8,900	106.2%	15,800	18,399	48.5%	8,400	△ 5.6%	18,500	0.5%
	18.0%		26.6%		20.5%	23.4%		26.3%		23.4%	
売上総利益 (売上総利益率)	15,544	6.8%	6,658	8.9%	16,700	17,749	14.2%	6,650	△ 0.1%	17,300	△ 2.5%
	22.6%		19.9%		21.7%	22.5%		20.8%		21.9%	
販管費	13,145	△ 4.2%	6,846	4.6%	14,000	13,802	5.0%	7,000	2.2%	14,300	3.6%
営業利益 (営業利益率)	2,398	187.9%	△ 187	—%	2,700	3,947	64.6%	△ 350	—%	3,000	△ 24.0%
	3.5%		—%		3.5%	5.0%		—%		3.8%	
経常利益 (経常利益率)	2,465	110.6%	△ 221	—%	2,600	3,871	57.0%	△ 400	—%	2,900	△ 25.1%
	3.6%		—%		3.4%	4.9%		—%		3.7%	
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益 (当期純利益率)	1,085	63.5%	△ 278	—%	1,680	2,485	129.0%	△ 335	—%	1,950	△ 21.6%
	1.6%		—%		2.2%	3.2%		—%		2.5%	

② セグメント別（連結）

（単位：百万円）

	2015年3月期		2016年3月期					2017年3月期（計画）			
	通期		第2四半期累計期間		通期			第2四半期累計期間		通期	
	実績	前期比	実績	前期比	計画	実績	前期比	計画	前期比	計画	前期比
受注高	77,873	18.9%	40,820	14.3%	75,000	76,485	△ 1.8%	31,500	△ 22.8%	76,500	0.0%
水処理エンジ	62,318	—%	32,884	17.4%	58,800	60,529	△ 2.9%	23,500	△ 28.5%	60,250	△ 0.5%
機能商品	15,554	—%	7,935	3.2%	16,200	15,956	2.6%	8,000	0.8%	16,250	1.8%
売上高	68,741	10.7%	33,479	16.9%	77,000	78,719	14.5%	32,000	△ 4.4%	79,000	0.4%
水処理エンジ	53,367	—%	25,677	21.4%	60,800	62,907	17.9%	24,000	△ 6.5%	62,750	△ 0.3%
機能商品	15,374	—%	7,801	4.2%	16,200	15,811	2.8%	8,000	2.5%	16,250	2.8%
営業利益 （営業利益率）	2,398	187.9%	△ 187	—%	2,700	3,947	64.6%	△ 350	—%	3,000	△ 24.0%
	3.5%		—%		3.5%	5.0%		—%		3.8%	
水処理エンジ （利益率）	1,021	—%	△ 848	—%	1,200	2,553	150.0%	△ 970	—%	1,580	△ 38.1%
	1.9%		—%		2.0%	4.1%					
機能商品 （利益率）	1,377	—%	661	△ 5.8%	1,500	1,393	1.2%	620	△ 6.2%	1,420	1.9%
	9.0%		8.5%		9.3%	8.8%					

③ 電子産業向 受注高・売上高（連結）

（単位：百万円）

	2015年3月期		2016年3月期					2017年3月期（計画）			
	通期		第2四半期累計期間		通期			第2四半期累計期間		通期	
	実績	前期比	実績	前期比	計画	実績	前期比	計画	前期比	計画	前期比
受注高	30,335	53.6%	12,687	12.6%	27,400	24,127	△ 20.5%	9,270	△ 26.9%	23,535	△ 2.5%
国内	19,085	81.7%	7,932	△ 12.3%	15,400	9,104	△ 52.3%	3,635	△ 54.2%	10,805	18.7%
海外	11,250	21.8%	4,754	114.4%	12,000	15,023	33.5%	5,635	18.5%	12,730	△ 15.3%
売上高	22,145	14.9%	13,455	40.1%	28,300	30,359	37.1%	11,510	△ 14.5%	25,860	△ 14.8%
国内	13,739	48.7%	7,288	6.7%	15,800	17,195	25.2%	5,445	△ 25.3%	13,275	△ 22.8%
海外	8,406	△ 16.2%	6,167	122.4%	12,500	13,164	56.6%	6,065	△ 1.7%	12,585	△ 4.4%

## 2. 主な指標

(単位：百万円)

	2015年3月期		2016年3月期		2017年3月期 (計画)		
	通期		通期		通期		
	実績	前期比	実績	前期比	計画	前期比	
<b>連</b>	設備投資額	334	△ 6.5 %	603	80.2 %	800	32.6 %
	技術研究費	1,392	△ 6.6 %	1,407	1.1 %	1,550	10.1 %
	減価償却費	999	△ 6.2 %	950	△ 4.9 %	950	△ 0.1 %
	有利子負債	12,717	24.3 %	17,412	36.9 %	17,800	2.2 %
	金融収支戻	△ 33	—	△ 50	—	△ 50	—
	従業員数 (人)	1,944	+ 48 人	2,088	+ 144 人	2,110	+ 22 人
<b>結</b>	EPS : 1株当たり当期純利益 (円)	18.85		43.17		33.86	
	1株当たり配当金 (円/年)	8.0		9.0		10.0	
	ROE : 自己資本当期純利益率 (%)	2.4		5.4		4.1	
	ROA : 総資産経常利益率 (%)	3.1		4.3		—	